

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
総合計画策定の5つの視点		総合計画策定の5つの視点は同感である。	提言書に掲げた5つの視点を重視して策定されることを期待しています。
総合計画策定の5つの視点		毎度のことですが、現在の総合計画およびその成果を踏まえた問題点の分析や課題の整理を行わずして新たな計画を検討するスタイルは、「新しい時代の総合計画」とはいえないと思います。この基礎自治体としての「健康診断」を踏まえて策定されるという視点が必要です。	現行第4次総合計画の進捗状況の確認は今回の提言書についての議論を始める前提としました。ただ第4次総計では期間内の目標値が設定されていなかったため、現状は理解できて、総計としての進行度合いを把握する事が困難でした。なお、実施計画段階では実施状況の評価を行っていますが、それも内部評価にとどまっており、市民にはわかりにくいものです。この点を踏まえ今回の提言書では計画期間内の達成目標を設定する事を提言し、その進捗状況を把握出来るようにするとともにPDCAサイクル機能による評価、改善の実施も提言しています。
総合計画策定の5つの視点		5つの視点の を変更 すべての市民にわかりやすく共有できる計画であることを重視します。	「市民・行政職員参画型の開かれた計画」の中に入っていますのでご理解います。分けた方がわかりやすいかもしれませんが。
総合計画策定の5つの視点		PDCAは重要であり、賛成。一方、T-QC手法による問題の絞り込み、改善点及び方法のポイントの見出しなど、ABC分析、差異分析などを駆使すべきと考える。 PDCAサイクルの考え方に比して、T-QC手法が全く使われていない PDCAサイクルの考え方は、全面的に賛成支持します。しかし提言案策定に当たり、CHECKの視点で、数字の裏付けが少なく抽象的に感じる。 またT-QC手法を駆使して問題の絞り込み(ABC分析)、原因の発見(差異分析)が散漫で、多数の発言の集約に客観性が乏しく、問題の絞り込みや、対策が総花的であり、何が重要課題で、対策のキーポイントが見えない。	PDCAと共に定量的な達成目標(指標)を設定し、達成目標の進捗状況をPDCAサイクルの中で管理し軌道修正を行うことが、今回の総合計画に関する提言の大きなポイントになっています。 T-QC等の具体的な手法にまでは基本構想で触れる必要はないと思っています。実施段階で、どのような手法を活用するのかを決めていただければよいのではないのでしょうか。
総合計画策定の5つの視点		総合計画策定の5つの視点に次の を追加 メニュー方式(単発型)による政策の実施から、パッケージ型(複合型)の政策を旨す。 縦割り型の施策から横断的な施策によるシナジー効果を見据えた効率的な展開を旨す。 ex.) 協働型施策の実施 地域の人的資源の活用 元気市民 これらを実現する手法(プログラム)開発を併せて取り組む。 山のみどりの保全 地域の人的資源の活用 新産業への支援	今回の提言書では5つの「まちづくりの目標」ごとに分割して、施策レベルの提言を検討しました。ご指摘のように行政の多くの施策は相互に関連する部分があり、それらの施策を総合してパッケージとして計画(P)、実施(D)、評価(C)、改善(A)されるのが望ましいですが、この提言書自体がおっしゃる単発型の政策提言になっております。 しかし、総合計画のあり方としてご意見にあるような視点も に付け加え、今後の総合計画策定の段階で検討願えればと思っています。
総合計画策定の5つの視点		5つの視点は重要。PDCAにより毎年見直していくことが必要。行政だけでなく、第三者の視点で評価する仕組みをつくる必要がある。	基本計画については中間時点(概ね5年前後を想定)で、実施計画は毎年見直すことを提言しています。評価も「まちづくり市民会議」などで市民の視点で実施されることを提言しています。
総合計画の構成		実施計画は3年先までの計画を織り込んだローリング方式の計画を毎年策定することに賛成。基本計画、基本構想についても固定することなく、実績の推移ならびに評価、環境や状況の変化に伴い適宜見直しをすべきである。	基本構想や基本計画を頻繁に見直すことは、計画があつてないようなものになりかねません。しかし、従来のように1回決めたら全く変更しないというのも硬直的すぎる面があります。従って、10年計画なら中間点の5年目に見直すことや、大きな環境変化に対しては柔軟に対応することを提言しています。
総合計画の構成		「新しい時代の総合計画」として市民・行政共有の「地域経営計画」として位置づけを明確にする場合、「基本計画」は、首長選挙の時期に合わせて計画期間を設定すべきだと思います。首長選挙では、施策の優先順位をめぐって戦われるわけですから、選挙によって選出された首長が、市民・行政共有の「地域経営計画」を実施するための行政側のリーダーとして見直し、策定すべきものです。	今回の提言書は第4次総計にある計画の進捗状況、その後の社会環境の変化などを踏まえ、2011年から10年間の総合計画への提言として、市民の視点から作成しました。しかし、最近はおっしゃるよう首長の任期期間を意識して総合計画を策定する自治体もあり、この提言書でもその考え方を否定せず、結論を策定委員会や審議会に委ねた形にしています。 したがって、ご意見の内容については、この提言書を基本として今後開催される策定委員会や審議会にて首長の意向も踏まえて検討されると思います。
総合計画の構成		実施計画のあり方として、予算も実施計画と整合性のある予算にすべきだとしているが、単年度予算制度の見直しは検討出来ないのか。	予算制度は地方自治法で決められていますが、見直しの余地も充分あると思います。しかし、ここではそこまで言及していません。
総合計画の位置づけ		「箕面市ではこれまで総合計画の位置づけが明確にされていませんでした」とあるが、何故明確化されなかったか検証したのか。その結果が条例での明確化なのか(因果関係を問う)。	最近多くの自治体で総合計画の位置づけを明確にするようになってきました。市民も行政も総合計画の重要性についての認識を共有すべきだと思っています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
総合計画の位置づけ		総合計画が、地域経営を推進するための箕面市の最上位の計画として位置づけされていることは、自明のことなので、条例で明確にする必要があるかどうかは疑問です。但し、箕面市の現状を見ると、上位計画と「都市計画マスタープラン」や「中心市街地活性化基本計画」などとの間に計画相互間の齟齬をきたさないように行政が主体的に臨機応変の対応をすべきですが、実際出来ていないと思います。これは「商業活性化ビジョン」、まだ見ぬ「観光基本計画」も含め、整合性が今後も実現可能性が乏しいのならば条例で位置づけする意味はあると思います。	おっしゃる通り総合計画と各分野別、テーマ別の計画とは整合性がなければいけませんので、条例で決めるかどうかはともかくとして、総合計画の位置づけを明確にすることを提言しています。
総合計画全般について		策定・運営について 5W1Hで超具体的な計画に仕上げてください 総合計画は市民の願望ではなく、ぜひ実現して欲しい事柄です。それだけに今までの計画書と違った文言で記してください 進捗管理に必要な工程表を作成し、運用と情報公開をしてください ぜひ実現しなければならない、重点項目にもっと絞ってください 行政コストの縮減が優先事項の第一です、甘い見込み数値を採用しないようにしてください 実態を正しく認識した上で目標の定量化を図る。少人数学級などは既に達成している 人事異動など担当者を変更する場合、引継ぎ書をもって遺漏の無いようにする	次期総合計画策定のこれからについて貴重なご意見を頂き有難うございます。 最終的には具体的な計画が必要ですので、それは総合計画の基本構想や基本計画をベースに、実施計画や分野別の計画として策定されるはずですが。 これまでのような実現できたのかできていないのかよくわからない総合計画ではなく、次期総合計画では達成目標(指標)を設定するなど進捗状況をフォローできる計画をめざしています。 PDCAシステムの採用を提言していますので、それを受け入れて、進捗管理の具体的な方法や、情報公開の方法などが決定されると思います。 行政から全分野を網羅した基本構想を要請されており、特定項目に絞ることはできませんでした。 提言書では是非達成すべき数値目標を掲げていますが、目標達成に要する財政支出までは試算できませんでした。具体的には次のステップ(策定委員会、審議会)で検討されるはずですが。 指標については実態が未調査の項目もあり、それらは定量的な目標が設定できませんでした。また、少人数学級は30人学級を、箕面市では制度としてまだ採用されていません。 ご指摘の通り人事異動の場合の担当者間の引き継ぎはきっちりなされる必要があると思います。そのような業務を標準化することも提言しています(提言シート29ご参照)。
総合計画全般について		暮らしやすさの条件整備が総合計画 将来人口・年齢構成、どれもあまり明るい材料は箕面市においてもありません。街の賑わいや、安全はそこに住む人が創るものです。今一度暮らしやすさの条件を見直してください。今以上の開発はいりません。もっと地元の商店がにぎわい、地元の住人が歩いて生活ができる、街づくりに力を入れてください。住人の往来が増えれば、安全・安心が高まります。大型店・CVS・携帯ショップなど損得だけで出店・退店を繰り返す街は荒廃するのみです。新市長の体制で策定される総合計画は非常にタイミングがよい。箕面市を経営する新社長としてこの経営計画はぜひやり遂げ、借金をまず返済してください。	ご提案は市民会議の「人が元気、まちが元気、山が元気、みんなで作る箕面のあした」や「住みつけたいまち、住んでみたいまち」など提言の想いをご支持頂いたものと考えます。 これから始まる次期総合計画策定において、これらの想いが取り込まれた具体策が実現出来るよう市民会議として新たな努力をいたしたいと考えます。
総合計画全般について		数値目標が偏重されているように感じられます。現状で「未調査」のものも多く、無理に設定をされているのではないかと感じられます。数値目標を設けたいという気持ちはあるのですが、それが一人歩きをする危険性は十分に認識をすべきであると考えます。	これまでの総合計画では施策の到達点があいまいでわかりにくかったので、できるだけ定量的な目標を設定することを提言しています。掲げた数値目標は市民の思いではありますが、すべてを総合計画に織り込むかどうかは、策定委員会などより専門的な次の段階での検討にゆだねたいと思います。
箕面市を取り巻く社会変化	少子高齢化と人口減少	箕面市の人口動態はどうなっているのか、特徴があるのか	本年(2008年)8月では127,316人であり、それまでの増加傾向から転じて2006年からは横ばい状況になっています。これからは大阪府の人口が減少すると予測されている中、近年は小野原西、彩都、森町の住宅地開発効果があるものの、長期的には人口安定化が大きな課題になります。
箕面市を取り巻く社会変化	成熟社会の生活不安	下から2行目「いちだんと難しく大きく重い課題」とあるが、他市と比較して論じているのか	大阪府の財政危機問題が府下の自治体にも影響する意味で記載しています。他都市と特別に比較したものではありません。誤解ないように表現を修正いたします。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
箕面市を取り巻く社会変化	地方分権改革の現実化	広域合併、協業化などの検討をしたのか。平成の大合併で大阪府は最も少ない合併実績だったが、何故なのだろう？	広域合併(市町村合併)については、都市の枠組みを超える問題であり、市民会議でも十分議論できませんでした。また今回提言の諮問外の問題でもあり、提言には触れておりません。広域連合は進みつつあるものの、なぜ合併が進まなかったかについては、十分研究しておりません。
まちづくりの基本となる考え方	循環サイクル	地域経営の好循環の構図が誤りだと思えます。「箕面の魅力アップ」は、循環のサイクルの最初に来ることはありません。持続的な成長を可能とするための都市経営戦略のもとで、定住人口、交流人口の増加を目指してコンパクトな都市基盤を整備すること最初にあるべきです。だからこそ「総合計画」の中身が重要だと思えます。地域資源の活用がこれと並行して積極的に行われることで地域産業が活性化し、雇用が拡大し、住民の定着、若い世代の流入を促し、イメージと評価が向上し、地域への将来の民間資本の投資促進へとつながり、「箕面の魅力アップ」へと循環するものだと思います。 この提言では、地域資源を活用すればまちの魅力を高める入り口となるのが前提となっています。安易に「地域資源を活用する」ということを持ち出すと、「地域資源が活用」されていないから循環がスタートしないというおかしな論理になりかねません。実際、「地域資源を活用」し、魅力を向上させるところまで高めるためには、官民、関係者が一体となって先にやるべきことがたくさんあるということを基本となる考え方で確認すべきです	「箕面の魅力アップ」することが住民の満足度を高め、都市間の優位化競争の中で、「市民の定着化や若い人たちの流入」を促し、ますます「地域資源の増大」という再生産の力を蓄えよとの概念的な意味から、「箕面の魅力アップ」が、これからの10年間の取組みに重要な視点であることを掲げました。したがってまちの青写真とも言える総合計画の策定内容には、この認識を重要視していくべきと位置づけています。図解することにより、意に反して理解を複雑化しているのかも知れませんが、ご理解ください。なおご指摘の論旨からすれば、「持続的な成長を可能にするための都市経営戦略」が「箕面市の総合計画」に当たるのではないかと考えられます。図解は総合計画の実行により、「箕面のあした」が実現するものとしてとらえ、「総合計画の実行」を加えたものいたしました。
まちづくりの基本となる考え方	自助・共助・公助	50年前ならいざ知らず、核家族化も進んだ現在の社会では、自治会も崩壊し「自助」の役割を担える意識が市民にほとんど無いため、市民の自助意識を基盤にしてスパイラルアップをするのは難しいのではないかと。人間の行動を科学的に分析して政策を提言する必要があるのではないかと。たとえば、「市民の協力に対し、ポイント制で利益を還元できるシステム」をつくるなどして広く政策を行きわたらせるようにしたらどうだろう。また、市民大学などを作り、市民および行政の意識改革から着手したらどうだろう	私たちの提言は、市民をはじめ行政・議会に自助意識、共助意識・公助意識による社会活動と呼びかけられるものであり、必ずしも市民の自助意識のみに頼るものではありません。この点をご理解いただきたいと思えます。なお、ご提案のポイント制、市民大学の必要性は、私たちが同感であり、具体的施策としての記述はしていませんが「生涯学習」「地域コミュニティ」「公益市民活動」などに、その意向を反映させています。
まちづくりの基本となる考え方	自助・共助・公助	自助、共助、公助の理念は述べてありますが、目標のどの部分を自助とし、共助とするのか、あるいは公助はどこを分担するのかを、もう少しはっきりさせ、P10以降でそれぞれについて簡単に整理した方がいいのでは無いでしょうか。 例えば、健康は自分で守り、頼れる医療をつります。 (自助) (公助) 特定保健指導(公助)、等	「自助、共助、公助」による具体的役割分担を明確にすることが必要とご指摘は、私たちが重視いたすところです。そこで、提言書で表現できないところを、やや重複している感がありますが、主に「提言シート」に区分を設け記載することにしました。「提言書」に加え提言することにいたしました。ご指摘のところにその記載が不十分かもしれませんがご理解ください。
まちづくりの基本となる考え方	自助・共助・公助	自助について「市民一人ひとりが担う社会行動が、公共を支えます」とあるが、税、費用についても負担する覚悟はあるのか。	・自助で、必ずしも税の負担が増すとは限りません。市に頼らないで、自分でできることは自分でやること。また、やられるのではなく、自分から積極的に行動することで、たとえ費用が掛かっても、また自分のできる範囲のことはするので、負担感はない。むしろ僅かでもやられているという気持ちでやるなら、不満、不平等感があります。 ・市民個人だけでなく市民が集まり組織する団体にも「自助」の考え方が当てはまるかと思えます。団体活動の費用についての公の支援は、公益性のある場合は現行の通り補助・協働に関する制度で運用されるべきと考えています。
まちづくりの基本となる考え方	循環サイクル	「地域資源の増加」と記述してあるが、「増加」は「発掘・開発・活用」が適当ではないか。あるいは箕面の魅力UPの前に発掘・開発、活用があるのかも知れませんが	「箕面の魅力アップ」が住民の満足度を高め、都市間の優位化競争の中で、「市民の定着化や若い人たちの流入」を促し、ますます「地域資源の増大」という再生産の力を蓄えよとの意味から、ご指摘箇所の表現は「増大」としてあります。(拡大でもよいかも知れませんが)なお「箕面の魅力アップ」には、当然力相当の妥当な資源の投下が必要であり、その意味では、ご指摘どおりかも知れません。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
まちづくりの目標と基本方向	体系図	<p>目標1～4の区分けがダブリ、各項目の関係性がすっきりしない。項目関係ネットワーク図で2つくらいに整理すれば解りやすい</p> <p>目標1～4は、まちづくり目標ですが、目標5は目標1～4を実行するための市民や行政が取り組まなければならない基盤的な仕組みづくりであり、人材の育成、啓発を担う取組であることを、明確にすべきと思います。この取組自体にも、共助、公助あるいは協働の考えを導入することが適当とかがえます。 (闇雲に自助、共助、公助と唱えても現実的でない。それなりの意識、技術、ノウハウを持つ市民を発掘し、育成し、市民同士が学び合い、世代間の連係など)</p>	<p>将来都市像の実現のために、重視すべき視点で5つの目標を設定しました。したがって、従来の政策分野によるグルーピングではなく、相互にまたがる結果にもなっています。その点ご指摘どおり、わかりにくさがあるかと思いますがご理解下さい。</p>
まちづくりの目標と基本方向		<p>目標2.子どもたちの夢が育つまち (4)生涯学び、生涯元気に暮らすことのできる... は、むしろ目標1ではないでしょうか</p>	<p>生涯学習は、本来その中に学校教育も内包するものです。教育とのつながりを考える上では、生涯学習は教育と同じ目標に置いておく方が望ましいです。</p>
まちづくりの目標と基本方向		<p>解決の具体策がもっと欲しい...理念は大事だが、細かな表現レベルは後で修正できる。役所の作文によくみられるように、理念はりっぱでも具体策がなければ絵に描いた餅となる。改革の実効性を高めるためにも、解決策につながるアイデアを集めて検討する時間をもう少し優先したほうがよいのでは？時間制限もあり、実際にはこれを充実させるのは難しいが、例えば今後市民各層から広くアイデアを出してもらおう方策などを検討されたらいいかが？</p>	<p>解決の具体策が少ないのご指摘ですが、別冊「提言シート」に極力具体策を記述し「提言書」に添えることにいたしております。「まちづくりの目標と基本方向」の章では、総合計画の基本構想に該当する領域でもあり、総括的な記述にとどめてはいますが、「実現する暮らしの姿」の記述をすることで、具体的目標イメージを抱ける内容にいたしました。ご理解ください。なお、ご提案の「今後市民各層から広くアイデアを」については、同感するものでありますが、基本構想・基本計画・実施計画の行政の手による各策定過程で、十分検討されるものと期待しております。</p>
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	健康・医療	<p>【実現する暮らしの姿】で市民の健康寿命が延長しているとあるが、一口に長寿社会と言うが、どのような長寿を想定するのか？</p>	<p>「健康づくり」や「いきいき生活プログラム(介護予防)」、および「健康都市みのお」運動の目的は市民が命ある限りいつまでも元気にいきいきと暮らすことです。世間で言われるPPK(ピンピンコロリ)がそのイメージに近いものです。 これは「健康寿命の延長」と考えられますから、具体的な指標は要支援・要介護状態の有無を基準としました。</p>
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	健康・医療	<p>市立病院は経営改革をすすめ、誰もが信頼する病院となり、地域の良質な医療の確立を先導するにあつたの具体策と実効性は？</p>	<p>「公立病院改革ガイドライン」に基づく改革プラン作りが平成20年度内完成を目標に進行しています。「経営の効率化のため」に給与・定員の合理化や病床利用率の向上などをはじめ、「機能再編・ネットワーク化のため」に基幹病院と他の医療機関の機能分担や地域の医療供給体制維持、また「経営形態の見直しのため」に独立行政法人化などを含む民間の経営手法の導入などです。この改革プランに基づき市立病院では「質の高い医療の供給」、「広域連携による医療圏単位のサービス提供」、「経営基盤の強化」の実現を目指しています。 ご質問に答えるため「提言シート」該当欄の記述を詳しくしました。</p>
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	高齢者・障害者・外国人	<p>介護サービスの充実には民間事業者の活力を積極的に利用するとあるが、費用発生の場合、負担は誰がするのか？</p>	<p>介護保険制度の限度を超えるサービス費用の負担は被保険者側が保険料とは別に担うべきと考えます。 被保険者のサービス要請と保険制度の限度との差異を埋めるため、あるいは介護保険事業運営そのものに関わる費用を抑制するため、介護サービス等を提供する民間に期待できる対応や工夫を探る努力は欠かせません。保険者、被保険者とサービス提供者間のさまざまな視点からの工夫が介護保険制度を充実・発展させるものと考えます。</p>
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	高齢者・障害者・外国人	<p>障害者がさらに外出しやすいまちづくりを進めていくことが必要です。</p>	<p>地域のバリアフリーをすすめ、ノーマライゼーションの実現に向けた環境整備を提言しています。</p>

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
安全・安心でみんながいいき暮らしをさせるまち	高齢者・障害者・外国人	障害者が安心して暮らすための生活に係わる支援や、外国人に対する「内外人平等の原則」を目指す支援に関わる費用(財源、負担)は？	この提言書は総合計画策定のための提言としての位置づけであるため、巨大大事業は別にして、通常の行政運営の中で決定されている個別事業に関する財源の決定については触れていません。ご質問に関わる市民会議の提言は総合計画策定委員会、同審議会で検討され、総合計画に取り入れられた後、議会の議決を得て、はじめて該当する個別の事業計画が策定される予定です。それぞれの事業計画に対応する費用は、その後行政運営の中で事業年度予算として決定され、議会の承認を得て、適切に実施されるものと考えております。なお市財政改革の重要性については別途提言をしています。
安全・安心でみんながいいき暮らしをさせるまち	高齢者・障害者・外国人	【実現する暮らしの姿】で障害者についてどの地域でも「教育」…を進める条件が整備されたとあるが専門教育と普通教育の検証はしたのか？	支援学校と普通学校のあり方については、それぞれの現状やあるべき姿を踏まえ、障害のある人もない人も共に地域で暮らすことを支える教育の場として、双方の充実を提言しています。
安全・安心でみんながいいき暮らしをさせるまち	高齢者・障害者・外国人	【実現する暮らしの姿】で障害者は…生活をすすめる条件が整備され、安心して暮らしていますとあるが障害者は受け身か？	障害者が地域で自立して暮らすことに向けた提言をしています。障害当事者の取り組みをあきらかにするため、提言書の【実現する暮らしの姿】において、自立した暮らしと、市民として積極的に地域活動に参加することを加筆しました。なお本件は提言シートで具体的に言及していますのでご参照下さい。
みんなでまちの安全と潤いをつくります	安全	「地域毎の自主防災組織を自治会と消防団」など地域の諸団体が協力してつくとあるが、消防団の機能と市消防署充実との比較をしたのか？	専門職として24時間体制で勤務する消防署(108人)と、団員それぞれが職業を持ち、火災や災害時等に出勤する消防団(合計587人 出勤率:夜間90%以上、昼間20%前後)は常にその役割を分担して協力し合います。大規模災害時などでは消防署は市の災害対策本部としての役割を務めると共に災害からの防衛、救出・救助などに当たります。一方地域の団員で組織される消防団(23分団)は通信、交通途絶等のため市の初期出勤が即応できない場合にも、まず地域で住民と協力して「自らを守る体制」を築きます。さらに災害対策本部と組織的に協力しあって、災害からの防衛・救出・救助や災害広報の役割を担うことが出来るので、両者の協力を前提として市の災害応急対策計画が作られています。地域の自主防衛組織づくりではこのような消防団の特徴が推進力となるものとして、その協力について提言しました。
みんながいいき働くまちをつくります	働く	事業開発・事業発展などで雇用機会を増やしますにおいて、起業については触れているが、市民サービスの市場化などの施策実施にかかる行政との協働(フロンティア事業)の推進についても触れて欲しい。これが、箕面の独自性であったり、魅力アップの大きな原動力だと思います	ご指摘の行政との協働(フロンティア事業)は新しい形の雇用機会になるものとして取入れられました。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
みんながいきいき働くまちをつくりま	働く	<p>「ディーセント・ワーク」について いきいきと働けることは、とても大事なことと思います。働くことは社会とつながり、ひととつながり、知恵を共有し、豊かな人間らしい暮らしをつくることです。障害がある人もない人も、誰もが働く権利があるのだと思います。人間らしく働けることは、「生活ができる」「雇用が安定している」「誇りがもてる」など、人権があるということではないでしょうか。</p> <p>しかし、様々な規制緩和が行われ、市場がグローバル化された国際社会の中での、大競争主義・能力主義が、働くもの同士を競争相手とし、決して仲間にはなれない人を排除するような非人間的な働き方が広がっています。(特に若者に広がるワーキングプアや非正規雇用の問題)</p> <p>21世紀に入ってILO(国際労働機関)が活動目標にあげているのが「ディーセント・ワーク」だそうです。ディーセントとは「まともな」という意味ですが、「人間らしい労働」「尊厳ある労働」などと訳されています。ILOではディーセント・ワークを普及させるために、「労働の基本的原則と権利＝人権と労働」「雇用と収入」「社会的保護と社会保障の強化」「社会対話の強化」の4つを挙げています。そして「労働は単なる経済活動ではない」と言っています。</p> <p>このディーセント・ワークの視点が「みんなが生き生き働くまち」につながるのだと思います。ぜひこのディーセント・ワークの位置づけをし、提言の中にこの言葉を入れてください。まだまだ日本のなかでは、広がっていない言葉ですが、必ずこの言葉が、ノーマライゼーションやバリアフリーなどという言葉が浸透していったように広がるはず。また、広がらなければ「人間らしくいきいき働くまち」をつくっていくことができないと思います。</p>	<p>表題の「みんながいきいき働くまちをつくりま」の実現にはご意見にある「人間らしく働くことが大切」です。</p> <p>「過労死」や「ワーキングプア」、「名ばかり管理職」など社会でいま問題となっている労働環境の解決にあたり、「人間らしさ」の視点を含む「ディーセントワーク」の概念が極めて重要であると考えます。</p> <p>ご指摘に従い「ディーセントワーク」を提言書と提言シートに取り入れます。</p>
みんながいきいき働くまちをつくりま	働く	<p>地域の・・・事業開拓・事業発展などで雇用機会を増やしますとあるが、働く場(事業所)の拡大、誘致をどう考えるのか？</p>	<p>箕面市でも社会を取り巻く変化に伴い、遠距離の通勤を避け地域内で仕事を求める市民が増えています。このような就労要請に応えることが地域活性化のため大切な要素と考えます。</p> <p>そのため箕面のみどりや自然豊かな住宅都市としての特徴を大切にすることを基本として、まちの性格を変えることなく、地域の各種事業の発展を中心として、起業を含む多様な雇用機会の創出をすすめることを提言しました。</p>
みんながいきいき働くまちをつくりま	働く	<p>就労困難者、高齢者の生活を充実させる支援や障害者市民の就労支援を述べているが、その費用(財源)は？</p>	<p>この提言書は総合計画策定のための提言としての位置づけであるため、巨大事業は別にして、通常の行政運営の中で決定されている個別事業に関わる財源の決定については触れていません。</p> <p>ご質問に関わる市民会議の提言は総合計画策定委員会、同審議会で検討され、総合計画に取り入れられた後、議会の議決を得て、はじめて該当する個別の事業計画が策定される予定です。</p> <p>その後行政運営の中でそれぞれの事業計画に対応する費用が事業年度予算として決定され、議会の承認を得て、適切に実施されるものと考えております。</p>
みんながいきいき働くまちをつくりま	働く	<p>職業教育で働く事の楽しさや大切さが理解されとあるが、厳しさ、責任、忠誠心なども加えるべきである。</p>	<p>「働く」事にはご趣旨の如き数多くの要素が含まれて居ます。「・・・大切さ、厳しさなどを理解・・・」として取り入れました。</p>
子どもたちの夢が育つまち	人権	<p>【実現をする暮らしの姿】に「障害のある子どもも、ない子どもも、地域で「ともに学び、ともに育ち、いきいきと暮らしています。」を入れてください。障害がある人を理解することの前提は、ともに学び、育つことだと思います。必要なところでは、必ずこの文言を入れてほしいです。</p>	<p>ともに学び、育つ教育については、提言シート(4)「障害者市民」の教育において、地域で「共に学び」、「共に育つ」ことの現状と重要性を認識し、障害児の教育について、市民と行政との協働をすすめることを明記しています。</p> <p>なお【実現する暮らしの姿】は提言書の構成上、短文で全体をまとめる表現をしているため、ご要望に応えられないことをご了解下さい。</p>
子どもたちの夢が育つまち	人権	<p>箕面はこれからも人と人のつながりを大事にし、子どもの人権が守られ、誰もが笑顔でいられる暖かいまちをつくっていく努力を続けていきますとあるが、現状は過剰と思う。責任と義務の心が薄れていないか</p>	<p>提言の中には、子どもの自主性を尊重した、発言の場があります。それは、子どもたちに責任や義務についても考えてもらう場所でもあります。また、子どもたちの人権を守るため、自らで考える場でもあります。なお、権利と義務を学べるようにすることは、提言シート(11)のいきいきとした子どもたちが育つまちで提言しています。</p>
子どもたちの夢が育つまち	人権	<p>「男女共同参画推進条例」が「制定」される時代を迎えたとあるが、制定されていませんが、問題ありませんか？</p>	<p>ここでは社会一般の動きを記述しております。</p>

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
子どもたちの夢が育つまち	人権	未だに残る社会通念や習慣・しきたりなどによる「男女の待遇の違い」をなくしとあるが、社会通念やしきたりの問題だけでなく、男女の資質差、働く事への考え方の差を考えなくても良いのか。(どちらが大きいのか)	ここでは男女間の資質や働く事に対する考え方の差異の有無にかかわらず、しきたりなどにより、活動の[機会]や能力を発揮する「機会」を男女間で等しく与えない事態をなくするように述べています。
子どもたちの夢が育つまち	人権	実現する暮らしの姿に大人たちの見守りが、子どもたちの人としての権利を守っていますとありますが、同時に義務(守るべきこと、してはいけないことなど)をも持っています。	提言の中には、子どもの自主性を尊重した、発言の場があります。それは、子どもたちに責任や義務についても考えてもらう場所でもあります。また、子どもたちの人権を守るため、自らで考える場でもあります。なお、権利と義務を学べるようにすることは、提言シート(11)のいきいきとした子どもたちが育つまちで提言しています。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	最近では地域の大人たちが子どもたちを叱らなくなった。敬語が使えず、社会常識をわきまえない若者が育つ。顔見知りであるかどうかに関わらず、大人たちが子どもたちに注意していくことが必要。	その通りであり、地域の大人たちが見守ることは、子どもたちの成長には大切なことであると思います。出来れば、叱るだけではなく、いいところを褒めるようにしていただけたらと思います。褒めることや叱ることについては、提言シートに反映させました。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	お金が介在しないような教育のあり方を考えていくことが必要である。	その通りであり、その一つである地域での教育を充実させることは、子どもたちに有益なことと思います。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	働きながら安心して子育てをおこなえるまちをめざし、子育て世代の意見をもとに、休日保育などの保育サービスを拡充し、経済的な支援の充実に努めますとあるが、財源は、負担は？	この提言書は総合計画策定のための提言としての位置づけであるため、巨大事業は別にして、通常の行政運営の中で決定されている個別事業に関わる財源の決定については触れていません。ご質問に関わる市民会議の提言は総合計画策定委員会、同審議会で検討され、総合計画に取り入れられた後、議会の議決を得て、はじめて該当する個別の事業計画が策定される予定です。それぞれの事業計画に対応する費用は、その後行政運営の中で事業年度予算として決定され、議会の承認を得て、適切に実施されるものと考えております。なお市財政改革の重要性については別途提言をしております。
子どもたちの夢が育つまち	教育	少人数学級が教育の効果に現れるのか疑問。学校によって挨拶の取組みなどに違いがある。公立学校の中での格差が心配される。	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。また、この提言書は、質面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増えることを期待し、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。
子どもたちの夢が育つまち	教育	子どもたちがめざすべき道を自分で考え、その道をめざすことのできる確かな学習力を身につけられるようにしますとあるが、学校の教育の在り方を変えなくては？ その方策は？	まちづくりの基本方向の確かな未来を見つける教育を行ないますに記述してあります。
子どもたちの夢が育つまち	教育	まちの人たちの力を教育に生かす制度をより活用していきますとあるが、教育委員会、教職員の領域に踏み込み、改革する方法は？	この制度は既にあるものですので、更に活用していかなくてはならないと考えています。
子どもたちの夢が育つまち	教育	これからは子どもたちも市民として、まちづくり、公園づくりなどに意見を出すことのできる制度をつくりますとあるが、「意見を出す」を「意見やお手伝いする」にしてはどうか	子どもたちが自主的に考え、行動することが大切だと思います。子どもたちの意見を市民の意見として受け入れる力が大人には必要です。
子どもたちの夢が育つまち	教育	少人数学級により、子どもたちへの教育がより行き届いたものになっていますとあるが、少人数学級が本当に効果的か？(例えば過疎地の教育は問題はないのか) 実態はほぼ少人数学級になっているのでは？	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。また、この提言書は、質面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増えることを期待し、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。
子どもたちの夢が育つまち	教育	子どもたちが考えたことが、まちづくりに反映されていますとあるが、考えるだけでなく、大人と一緒に	子どもたちが自主的に考えることが大切だと思いますので、大人はあくまでサポートであるべきだと思います。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	そのために、特技、技能、技術などを教え継承できるようなシステムを作りとあるが、費用は？無償ボランティアか	システムづくりの費用は検討していませんが、特技・技能・技術などを教える方はボランティアです。また、特別にこの為だけの組織でなく、他との兼業ででき、今、市民活動センターで稼働しようとしています。
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	学校の余裕教室を活用し、生涯学習がより身近なものになっていますとあるが、一部は既に実施されているが、学校の開放は、教育委員会、教職員の同意が得られるのか	学校は市の所有物で、また市民皆の所有物です。授業の妨げにならないなら、教室の有効利用になります。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	昼夜電力の使用実態とそれを埋める方向か？	昼夜間電力使用料は環境対策としては大事なことです。その対策として夜間電気温水器、エコアイスなどの機器が普及してきています。ここ「地球環境さきがけのまち」では温暖化防止や食糧問題などの環境問題から安心、安全、快適に暮らすにはどうすればよいかと考え、エネルギー問題、省エネと脱化石エネルギーから自然エネルギーの転換のとびりサイクル。安全な住環境はハード面から治山治水、公共交通問題など、このような観点で多面的に取り組みを進めています。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	「太陽光発電・温水器など自然エネルギー利用、屋上・壁面の緑化、雨水利用の推進」とあるが、費用負担は？	費用負担問題は避けて通れない問題です。しかし、温暖化の問題は待たなしです。太陽光に関し現在本市では、上限10万円の補助金制度が6月より始まっています。国は2030年に設置件数を今の40倍にするとしており、政策を推進するための施策が期待されます。NPO法人も太陽光発電の普及活動をしており、グリーン電力証書による環境価値の売買やドイツのように電力固定価格買取制度「フィードイン・タリフ」、日本版制度の法制化を実現させようとした動きもあります。環境問題は昨年暮れこより追い風が吹いており、費用負担の問題はいい方向に向かっていきます。まず、市民が省エネをして、後世の人々に負担(ツケ)を残さないエコライフスタイルの実践が重要です。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	「資源回収団体、回収業者への奨励」とあるが、焼却とどちらが得か？	ごみの減量は、リサイクルによる限りある資源循環の有効活用とCO ₂ 排出抑制で環境対策になります。そのためにこの制度を行っております。最近資源の高騰でリサイクルごみ(古紙、金属)の価値が上がり、焼却はCO ₂ の排出、焼却灰の運搬、処分費がかかり、後世の人々に残すツケを考えると割高な処理になりました。クリーンセンター焼却炉の延命対策も大切です。ごみゼロエミッションに向かってリサイクルをよろしく願います。
地球環境さきがけのまち	エコシティ	「地盤の強度や断層帯などを考慮した安全に配慮したまちづくりを進めます」とあるが、どの程度の対策を考えるのか	都市開発にとって地震や強い雨に大丈夫な場所に新しいまちづくりを行うのは大前提です。断層が走り、もとの地盤の弱い場所に住宅地や会社、付け替え道路・河川などの土地利用計画により高い盛土の造成が行われています。造成地盤下の地盤も合わせた強度の確認が必要です。その強度確認のためには、造成済みの場所で最も弱い所で問題の多い地盤の検査を行い、土地利用計画の構築物にふさわしい地盤強度の確認が必要です。もしその地盤強度が不足していたら、その地盤に応じた追加補強の対策が重要です。
地球環境さきがけのまち	エコシティ	「自己水源の充実」とあるが、上水の府よりの購入が仮に減った時、問題は生じないのか。(府への長期負担を約束していないか) 「上水道の安定供給のため」とあるが、現状は不安定か？	市上水の自己水比率は減少しています。原因の一つは涵養林の荒廃ともいわれています。温暖化に伴う降雨量の減少が危惧されます。自己水源を確保しておくことが大変重要なことです。さらに安定供給のため、府や近隣都市との協議連帯を行います。府への長期負担の約束については判りませんが、給水量の86%を占める府からの購入は、毎年受水計画量を契約するシステムとなっています。災害時や渇水時に備えた非常用の水の確保も行われていますが、より安心な安定供給へ自己水源の拡充も含めた水道施設の充実と強化が必要です。
地球環境さきがけのまち	エコシティ	「都市計画公園が計画的に整備され」とあるが、厳しい財政状況下で整備するのか。延期、中止はないのか。	身近な都市公園の計画はありますが、避難場所が遠くても開設されていないところもあり、公平の原則からも、人にやさしい住環境づくりを進める必要があります。
地球環境さきがけのまち	エコシティ	「自然と緑を保全し健全な水循環を進めていきます」とあるが、現状は不備か？	箕面市は山、森、川など豊かな自然に恵まれたまちです。しかし、都市化はこの豊かな自然を蝕んでいます。豊かな自然の要素の一つが健全な水循環です。水は生命にとって不可欠で大変重要なものです。天の恵みが森や田畑を、そして人の生活を潤しています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
地球環境さがけのまち	公共交通	(3)人と環境にやさしい公共交通を充実し利便性を高めるまちをつくります(公共交通)について 市内巡回型の公共交通と市外への移動利便性向上とした都市間交通インフラ開発が必要とされているが、なぜ、都市間交通インフラ開発のみ過度に慎重に意思決定の仕組みを要しようとしているのか。市内、市外の交通インフラの位置づけは、共に環境にやさしいまちづくりを成す上で同じはずである。財政負担の回避のために意思決定を過度なものとするのは非常にバランスが悪い。今の環境では市外に移動する電車の場所も遠く、車を移動手段とするしかない。次世代の負の財産とは使うお金だけではなく、まちの発展に躊躇した状態のまま引き渡すことである。交通充実の手法である財源については、国や府、民間の協力により対応できるものであると考えるので、市内交通、都市間交通を問わず、環境負荷、必要性、財源を慎重に検討し、コンパクトなまちづくりと整合性のある「都市計画マスタープラン」を策定して交通手段の普及を同様に進めてほしい	公共交通の総合的インフラが整った街への発展に、異論をさしはさんでいるわけではありません。むしろ大きな期待を寄せていますが、市財政力に比して莫大な財政負担や需要の先行きなどの展望が不透明なままで、夢に向かって突っ走るとは、将来市民の生活に大きく影響を与えるだけに慎重に取り組むべきと考えています。ご指摘の意見をも踏まえ私たちの真意を分かりやすくするため、提言書、提言シートの内容を大幅見直し、より具体的な取組みを提言することにいたします。なお、鉄道は、バス交通と違い一旦実施に踏み切ると軌道修正が安易でないことが提言の背景にあります。
地球環境さがけのまち	公共交通	福祉バスは無料でも自助の精神にかなうのか	行政施設巡回バスの現行の「無料扱い」は、行政施設の利用の公平性の考え方に立脚していますが、「市民が支える公共交通」の視点から、受益者負担を広げ、より便利な市内循環の公共バス体系に発展していくことを提言に含みました。
地球環境さがけのまち	公共交通	市内循環を進めるために市街地狭隘道路問題を優先課題とすべきです。例えば、箕面駅前再開発時、阪急セブン北側道路がなぜ一方通行道路になったのか。その当時から比べて西側の人口・会社も増加しており、府道箕面池田線を利用しなければ駅前周辺に行けない不便さがある。駅を中心としてみれば偏ったことであり、この地域では無理であるが、西洋などの円形広場は放射線状に街路がある。人が利用しやすい、集まりやすい。これは歩くのみでなく、交通機関の利用・物流の運搬やこれから高齢化が進むにつれ移動手段としてのアクセスが便利になればと思う。コンパクトなまちづくりと矛盾しない都市計画マスタープランの策定が求められます	ご指摘の箕面駅前付近など、市街地狭隘道路問題は市内各箇所であり、その解決が急務である認識に立っています。提言書では十分その意向を伝え切れておりませんが、「提言シート」の役割分担の内容に、「狭隘道路の対策機関」の設置や新規の自動車道の開発より優先することを記載し、具体的な提言をすることにいたします。なお、総合計画が都市計画マスタープランに生かされます。
地球環境さがけのまち	公共交通	阪急箕面駅周辺へ行く交通網をもっと検討して頂きたい。現実、朝・夕のわずか数便しか箕面駅へ行くバスがありません。この様に市内の公共交通の不備が限界まで達しているのが優先の課題として位置付けし、実現の為のプロジェクトチームを作るなど行政の主體的な責任を明確にして実現に向けて、過去の姿勢と明確な違いを示す計画にしてほしい	ご指摘のとおり具体的な提言内容に変更いたします。
地球環境さがけのまち	公共交通	北大阪急行延伸の計画がされているようですが、将来箕面市にとっては必要かもしれませんが、市東部に在住している私にとっては全く必要と感じません。同様に必要性や事業の妥当性に疑問を持つ人も多いと思うので慎重に検討することは賛成です	さまざまな意見があります。事業申請者に当たる箕面市の市民、行政・議会が共有する基本的認識を「将来市民に責任を持つ大型プロジェクト」の言葉にこめ、慎重に取り組む必要性と、そのための課題や市民も参画する具体的な進め方を提言することにいたします。そのため主要な提言や別冊「提言シート」の記載内容を変更いたします。
地球環境さがけのまち	公共交通	「市民の十分な認識と合意」とあるが、特に第二名神事業は国家的視点が重視されるもので、単に一部通過する自治体の市民の合意(or不合意)は、どんなスタンスになるのか	広域基幹道路建設の現段階では、ご指摘の通りかと存じます。箕面市が長期的に影響を受けると危惧される内容に関して、十分な対策を採ることを提言することといたしました。
「箕面らしさ」を活かすまち	歴史・伝統文化	街並みは文化財として考えているのか？そして保存などの考え方は？	桜ヶ丘2丁目の大正住宅博覧会地区は「都市景観形成地区」に指定されており今後も景観形成のためのルールを定めることが出来ます。また対象の住宅も登録文化財に指定されており対象と考えおります。今後もこのような扱いや指定は行われていきます。
「箕面らしさ」を活かすまち	住環境・まちなみ	既成市街地のまちづくり、安全、道路拡幅など、どのように整備するのか？	既成市街地における道路問題は日々の生活安全面でニーズの高い課題だと認識しており、別項目目標1: (3)みんなでまちの安全と潤いを作ります(安全)の項で歩行者や自転車道の整備とバリアフリーを進めるなど 提言させていただきました。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
「箕面らしさ」を活かすまち	住環境・まちなみ	彩都・箕面森町はまちづくりが進められていますが、常にチェックが必要、経済状況によって変化する	彩都、箕面森町など大規模事業については常に事業内容、財政面をチェックし、問題ある場合は速やかな対策・対応が必要です。そのような提言を別紙提言シートNo(31)財政が健全なまちへ5.個別案件に関する提言の項で行なっております。
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	観光については、箕面の観光の魅力は、今ある地域資源を活用するという観点では、地域間競争に勝てる魅力ある観光を創造することは出来ません。また、観光品の新しい品目を創出しても売上が自動的に上がるものではありません。観光を開発推進する主体や構造に問題があるのです。基本的に観光客、来外者にとって魅力的な資源は提供する主体のホスピタリティの質に大きく左右されます。観光案内所の機能を含めて総合的にまちとしての魅力を高める観光地としての整備を構造改革によって進めるべきです。この構造に対する改革の取り組みなくして魅力ある「箕面らしさ」を活かすまちを創出することは出来ません。行政は、率先して箕面の観光はいかにあるべきか、これを実現するためにはどのような構造で何を必要とするのか主体的に他都市の事例などを研究してリードする責務があります。この担い手の組織改革、担い手の育成、確保を進めることをテーマとして掲げるべきです。 産業については、観光、農業、商店街の活性化では、産業の活性化の柱としては不十分です。大型商店店の進出に伴い商店街が元気を失った面は否定できませんが、根本的な問題は、都市政策、交通政策の問題です。農業を機軸に産業の活性化を論じるのは間違いだと思います。まちなか居住を促進し、魅力ある町並みを整備することと一体的に推進すべきものです。地域への将来の民間投資を促進する仕掛けが最も重要です。魅力ある商業、サービスを実現するための人的資源の育成も重要です。農業も大切ですが、まちの顔であるコンパクトな中心市街地の整備を官民一体となって進めることこそが活性化の基本になることを明確にすべきです	「箕面らしさ」として観光産業をとりあげましたが、ご指摘のように、従来からの明治の森国定公園を中心としたもので、あまり目新しいものとはなっていません。20世紀の高度成長期を終えてこれからの社会で箱物的事業は成立しないと判断しました。箕面への観光客は「自然、緑、安らぎ、手軽さ、観察」そして健康志向と癒しさらに最近「地元特産品の買い物」(道の駅的要素)を求められて来られるのではないのか、と考えました。よって今ある資源の活用を中心とした提言内容となりました。しかし現在でも資源を十分に活用しているとはいえません。季節を通じて、またその目的に応じてニーズに答えられる工夫(もてなし)が必要だと思っています。その点ではご指摘の観光産業への取り組みや機能見直し、構造改革も視野に入れる必要がこれから大いにあります。産業については観光・農業・商店街の活性化だけの議論では当然ありません。ご指摘の通り都市政策、交通政策、民間設備投資や、人材育成などの政策が必要だと認識します。本項では「箕面らしさ」の視点からの提言で課題を少し絞って検討したので、その部分まで踏み込みしておりませんが、ご意見により一部提言書を修正させていただきます。
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	「歴史的な建物や 巡礼街道、…」 [追加] 西国街道 西国街道が漏れています追加したらどうでしょうか？	西国街道も箕面市を通る重要な歴史街道ですので、ご指摘どおり提言書に組み入れました
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	「箕面の農業の今後のあり方」を検討します 第三者が農政にどれだけ踏み込めるのか	「箕面のこれからの農業」を検討する議論の場で、消費者である一般市民もそれに参画する事は意味のあることと考えました。行政を中心に農業関係者以外も加わる事で新しい展開を期待しての提言です
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち		若い世代がまちづくり参加できる機会が少ない。若い人の想像力と年配者の知識を融合させて未来の未来に貢献できればと思う。議会や市役所に入りやすいシステムを望む。	おっしゃるとおり若い世代や現役世代の市民もまちづくりに参加できるような仕組みや制度は必要だと思いますので、例えば土日の議会開催などを提言しています。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち		若い人やNPOの意見を取り入れて提言書をまとめて欲しい	「公益市民団体活動」の提言に当たっては、特に若い人と特定し意見を聴くことはできませんでした。NPO団体の皆さんには、「NPOサミット」での意見吸収や、市民会議の参加者もそれぞれの活動をしており、それなりの意見を反映しているかと存じます。今回の提言には、間に合いませんが、提言内容には特に分野別ネットワークをを強め、行政への提言力を高める内容を記述いたしております。今後はご指摘の趣旨を活かした社会にしていきたいものです。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち		市民活動センターでも、若い人やNPOの意見を取り入れる工夫をしていきたい。	現状が十分かどうかはさておき、今後の方向である「公益市民活動の総合力」を高めるには、必須課題と考えています。そのためのしくみは主として提言しておりますので、記述が十分でないかも分かりませんが、意図するところが同じであることを、ご理解いただきたいと思います。なお「若い人や働き盛りの人」の文章を、文脈を崩さない範囲で差し加えます。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	地域コミュニティ	人々の意識、考え方をどの様に変えるのか、方法、手段、成果？ 地域活動は女性中心のきらいがある。男性にどの様に参画させるのか	市民の地域社会参加の現状の問題として、大きな課題と認識しております。私たちはそれゆえ、基本的なあり方を市民・行政・議会で共有化すべきと考え、今回の提言に及びました。その下敷きとして、条例整備やいろいろな共有化活動が必要です。またご指摘の地域コミュニティ活動についての男性参加問題も、提言内容の地域主導のしくみの中で地域での生きた知恵をいかし、妥当な方法が見出されるものと考えております。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	若者や現役世代をどの様に引き込むのか具体策は？	市民の社会参加といいながら「全体としての課題形成や問題解決方策」の記述にまで及びませんでした。しかし、地域コミュニティ、市民公益活動、行政などの社会活動の各々のしくみを、市民主体の新たな姿に変えていくことを提言しています。その中で解決をすべき課題として捉えられており、全体論調に十分記述されているわけではありませんが、ご理解ください。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	財政健全化は無駄の排除だけでは出来ない。新しい財源の捻出方法は？ 財政規模の縮小は循環金額の減少につながるのか？	受益者負担の増額、遊休資産の売却、行政保有の媒体等を活用した広告収入、税金や保険料等の徴収率向上、競艇事業の効率化・活性化など、財源の捻出に努める必要はありますが、新たな方法は提言できませんでした。具体的に何かあるのか教えていただきたいです。 新たな財源も大切ですが、億単位の歳出削減策があるのに比べて、歳入増加には限度がありますので、歳出削減も重要な課題だと思っています。箕面市は、サラリーマンが多く、事業者・商工業者などの割合が低いうえ、大きな市の事業は市外の業者がし、市民も必ずしも市内だけで買い物をするわけではなく、市の歳出削減＝循環金額の減少に直接つながらないと思います。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	審議会や委員会に参画する市民が増えるのは賛成だが、議会との関係はどう調整するのか(出来るのか)。	審議会や委員会などで検討された結果が、案件によっては議会で決議されるのですから、審議会や委員会などの結論にこれまで以上に市民の意見が的確に反映されたとしても、議会との関係は変わらないと思います。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	健康・医療	(医療)新たに設けられる「救急相談所」を活用しとあるが、救急時に相談する人がいるのか？	8000同様の電話相談の開設を提案しています。 相談に答える窓口の体制作りは課題ですが、子どもの急病については44都道府県が、大人についても伊丹市が7月から開始と報じられていますので実現可能であると考えます。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	健康・医療	(医療)市立病院は・・・信頼性が高く誰もが「受診したい病院」になるとあるが、医師の診療、態度、能力が信頼出来るか？	地域、広域の連携体制確立のみならず、院内のチーム医療による良質な医療確保のため市立病院は一層の努力が必要です。さらに医師を含む全職員の意識改革のため、既に病院内で取り組んでいる「患者満足は職員満足から」や「Positive Evaluation活動」など患者満足度を高める活動などをさらに推進し、市立病院に対する信頼を一層向上させることにより「受診したい病院になる」事を期待して提言しています。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	健康・医療	主要な取組で市立病院の改革に触れているが、かつて私が提言(まちづくり塾)した広域運用、協業化を推進すべきと考えるが	「市立病院の医療を広域提携する」は市民会議でも提言しております。 貴提言の具体的な諸方策の方向は本提言とも同一であります。市民会議に対し改めてこのご提案があったことをここに明記いたします。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	高齢者・障害者・外国人	(障害者)障害者の還元は(社会貢献?)	障害者の地域での自立には人によりさまざまな形があるとおもわれますが、自立とは、地域から孤立することではなく、さまざまな支援を利用しながら地域に主体的に参加することです。ひとりひとりが豊かになり地域に参加することで、地域も豊かになると考えます。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	高齢者・障害者・外国人	障害者が現実に自立した生活をするためには、ほかに支援があることを前提にしても「平均月内工賃」などの指標の数値は十分ではない。さらに理想の目標に近づけて欲しい。	指標は現実を勘案して可能な限り理想に近づけるよう設定されています。このような設定の根拠を理解したうえで障害者の生活の現実に基づき出された意見である明記いたします。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	安全	(暮らしの安全)まちの暮らしの「変化に対応した対策」をすすめますとあるが、具体策は？	市民生活の変化に即応する安全対策を広く実施する必要性を提言しています。 ここではバリアフリー化と自転車も安全に利用できる道路整備などを例示しています。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	安全	「主要な取組」の子どもの見守りや防犯パトロールの充実とあるが、子どもの自衛力を育てる必要性を感じるが？	ご意見の通り、子どもが自衛力を備える事は大切です。ここでは子どもの自衛力には限界があることを前提に提言しています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	安全	安全に関わる全般的コメント； かつて消防組織、機材が充実して来た今日、団員の主力である農家、商店員が少なくなり、消防団の出動時間にタイムラグが大きくなっている。また、新しく開発された住宅地では消防団組織がない。これらをカバーする消防署が充実する中で、必要性を検証すべきと考える	消防署と消防団は火災時のみならず、災害時の救出・救助活動でもそれぞれの役割を担って協力しています。 消防につきましては消防団のない新しい住宅地を消防署の充実によりカバーする事も可能でしょう。しかし災害時の通信、交通途絶等のため消防署の初期出動が即応できない場合に、まず地域の消防団がそれぞれの地域住民と協力して「自らを守る体制」を築くことができる現存の機能を、地域の自主防災組織のみに振り替えるべきか否かについては十分な検討を要するものと考えます。 ご提案の消防団必要性の見直しは、未だ設置が進まないために市民会議がこの度提言している地域の自主防災組織設置の進捗度合いも考慮しながら、別途検討すべき課題と考えます。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	安全	安全に関わる全般的コメント； 各地に普及しつつあるドクターヘリ及び千里救急センターは医師が同乗している。この例にみられる如く、消防組織に救急隊を所属させるのが良いか否か、検討すべきと考える	救急隊(搬送)は24時間勤務体制を求められ、傷病以外に火災や災害時の救助・救出とも強い結びつきがあることから消防組織への所属が妥当と考えます。 なお箕面市消防本部救急業務運用規定では救急隊長が必要に応じてドクターカー出動、あるいは医師の派遣を要請することになっています。 搬送方法の変更は病院の受け入れ能力に対応して検討すべきであり、医療機関における救急外来の収容余力等の改善が基本的課題であると考えます。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	働く	「ビジネスマッチング」についても取組み、…雇用機会の増大に努めますの、「ビジネスマッチング」は一般的な言葉ですか？	「外注先を探している」、「仕事を受注したい」、「新規取引先を開拓したい」等のニーズを有する企業に対し取引マッチングをするなどの機能を有するネットサイトを開設している”中小企業庁”はこれを「ビジネス・マッチング・ステーション」と名付けています。 「ビジネスマッチング」は定着した言葉と考えます。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	働く	地域で安定した多様な雇用機会の増大につとめますとあるが、近年の箕面市発展の歴史で、大阪などの企業の住宅地として発展したにもかかわらず、地元で就業したいという期待をもつのは如何か。また働き場があるのか？	箕面市は就労者の多くが地域外で勤務する住宅都市ではありますが、社会の変化に伴い子育てに重点を置きながら仕事をする、あるいは定年退職後自分の自由時間を仕事に充てる、また障害者市民が近隣で仕事をするなど、遠距離の通勤を避け地域内で仕事を求める市民が増えています。このような就労要請に応えることは地域活性化のためには大切な要素です。 現在はこのような就業要請に応える働く場が十分でないと考えたため、地域で起業を含む多様な雇用機会を創出することが欠かせないとして提言をしました。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	働く	シルバー制度を良とはするが、全仕事量もマンパワーであり、老人が働けばその分若い人の働く場が減るはずがどう考えるのか。(定年制の一つの側面)	ご指摘の如く高齢者と若年の仕事と同じ領域で重なり、競合関係が生じる事は考えられる事です。そのため「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」でシルバー人材センターの業務等については”臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く)またはその他の軽易な業務に関わる就業(雇用によるものを除く)を希望する高齢退職者のために、これらの就業の機会を確保し、組織的に提供すること”としています。したがって同センターは長期の仕事や直接雇用関係が発生する仕事は取り扱いません。また、高齢者が働くことを考慮し、危険・有害な仕事は引き受けられない事になっています。 箕面市シルバー人材センターはこの法律の趣旨に則り運営されていますので、高齢者が若年者の仕事を奪うような問題は構造的には生じ難いと理解しています。 なお同センターでは仕事の場を増やすための「就業開拓」活動を地域の中で積極的にすすめています。
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	働く	「主要な取組」学校教育に職業教育を組み込みとあるが、誰が教えるのか。企業の厳しい職場を体験したこともない教職員に教えられるのか？	職業教育は「働く」事に関心を深めるためのカリキュラムを作成して実施する事を想定しております。その中では現場を訪ね仕事をする人たちとの会話や企業をはじめ多様な職場での経験者の話、あるいは社会人ゲストティーチャーによる指導など工夫を凝らし、子ども達が将来さまざまな職業生活に入る事に関心を持つための基本的事項を習得させるべきとして提言しております。
子どもたちの夢が育つまち	人権	「暮らしの姿」指標で審議会・委員会等の女性委員の比率を採用する理由が判らない(能力主義の立場から)	このような指標は男女の活動「機会」を均等に近づける状況を知るためのものです。 この「積極的差別是正政策」はそれぞれの能力を發揮する「機会」は提供しますが、能力のないものにその地位を継続的に保証するものではありません。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
子どもたちの夢が育つまち	人権	暮らしの姿の指標に、小中学校でのいじめ件数とあるが、多くは学校教育に原因があるのでは？	基本的に社会の縮図、大人社会がいじめのある社会、自分のことしか考えない社会、近所とかかわりをもたない親、お金至上主義、利己的な親の価値観で、育てられるのが原因です。
子どもたちの夢が育つまち	人権	「主要な取組」の男女協働参画推進条例は性にあまりにもこだわっていないか？ 女性の側に甘えがないか。(働く意欲、能力、視野等)	この条例は男女が共に等しく活動する“機会”を確保する事を目標としています。等しく活動の機会が与えられないため、能力等を発揮できない事を防ぐためです。等しい活動の機会があるにもかかわらず、現れた働く意欲、能力、視野などの差を評価する事を否定するものではありません。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	ひとり親家庭、経済的な問題を抱える家庭など、子育ての基礎となる家庭の問題に柔軟に対応するために、働きながら安心して子育てをおこなえるまちをめざし、保育サービスを拡充し、経済的な支援の充実に努め、地域にある既存の子育て支援組織についての情報の提供を行っていきま、とあるが、片親でも母と子の関係は論じられるが、父と子の場合は殆ど論じられていない	ひとり親というのは、母子父子の家庭を意味するものです。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	子どもの「しつけ」が先でないか。近隣の人とまともに挨拶の出来ない子どもの態度を修正することが先。(他の市町村では見知らぬ人にも挨拶の出来る町がある)	子どものしつけについては、提言シート(11)いきいきとした子どもたちが育つまちに反映しました。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	子育て世代が集まり話し合える場、子育て相談をできる場として、コミュニティーセンター、学校の余裕教室などを利用し、市民が子育てについて語り合い、学ぶことができる場をつくりま。行政はその調整を行いますとあるが、学校の余裕教室を利用することについて、教育委員会、教職員の理解が得られるか	学校は市や市民のもので、授業の妨げにならない限りできると考えます。
子どもたちの夢が育つまち	教育	教育を充実させるカリキュラムとして、少人数学級制度を進めるとともに、とあるが、本当に良い制度か	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。また、この提言書は、質面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増えることを期待し、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。
子どもたちの夢が育つまち	教育	すべての子どもが等しく教育を受けられるように、学校のバリアフリー化をすす、障害を抱える子どもたちに学びの場所と機会を提供していきますとあるが、専門の学校では何故いけないのか？ 障害を抱える子の親のエゴでは？(思いは理解するが)	障害を持った子どもたちも、この社会の中で多くの人と触れ合いながら、普通に暮らしていけることが幸せだと考えます。そのための選択肢があることは大切だと思われま。
子どもたちの夢が育つまち	教育	(子どもの育成) 地域の人たちも積極的に、学校施設を利用できるようにし、とあるが、学校のセキュリティ重視の現状の中で理解が得られるのか	利用する人に登録をしてもらい、名札などをつけて使えるようにします。
子どもたちの夢が育つまち	教育	(青少年育成) 大人とこれから大人になっていく若者が、ともに考え、双方の視点から答えを探し提案する制度をつくりますとあるが、発言するのは優等生が多い。これらの意見は本音なのか？	彼らが本音を語れるようにするのは、大事なことだと思います。
子どもたちの夢が育つまち	教育	少人数学級により、子どもたちへの教育がより行き届いたものになっていますの 指標30人以下の学級を全学校学年に導入であるが、何度も指摘しているが、本当に良い施策か？	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。30人以下という人数は削除し、少人数学級を全学校学年に導入に変更しました。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。また、この提言書は、質面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増えることを期待し、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。
子どもたちの夢が育つまち	教育	ゲストティーチャー、出前講座であるが、現状の教職員に受け入れさせる手段は？(授業時間、よく教員資格の有無などを問われるが)	子どもたちが個々にもっている可能性を、いろいろな知識をもった人との交流の中から見つけていけるようにすることは、大切なことだと思います。ゲストティーチャーが効果的に動けるように、市民人材バンクなどにおいて、教えるための技術のサポートをすることを考えています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
子どもたちの夢が育つまち	教育	もみじだよりの子ども版をつくるという取組みについてだが、大人でもどれだけの人が読んでいるのか？まして子どもに読ませる編集が出来るのか。(その効果とかかわる職員の労力(人件費)の問題)	市報に子どもたちのセクションを作ることには意義があると考えます。これらが生み出す副次的な効果まで考え、あるほうがよいとの結論を出しました。ちなみに、全てを熟読する方は少ないと思いますが、ほぼ毎月、興味のある部分を読んでいる方を含めて、7割の方が読んでおられます。
子どもたちの夢が育つまち	教育	取組みにある子ども市民会議であるが、発言するのは優等生の発言では。(本音が出るのか)	優等生の発言だけにならないようにするのは大切なことだと思います。子どもたちが自らで道を切り開くことが大切であると思い、この提言をいたしました。
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	民間、大学、その他各種カルチャースクールがあふれている中、箕面市があえて学習講座を開く意義は？	普通救命講習など、市が行なうのにふさわしいプログラムがあります。また、生涯学習に興味を持つちょっとしたきっかけとして、市の短期のプログラムは魅力的です。民間にもお試しコースはありますが、市の方が少し長めであることが、自分に合ったものを探しやすくしています。そこから、より学びたいと思い、民間のスクールに通う方もおられます。全ての方に生涯学習の機会をつくることを考えれば、箕面市が開催するのは必要なことです。
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	生涯学習の柱として、図書館機能の充実が重要な課題です。現状の図書館サービスの充実のため時間延長などをテーマとしてとりあげるべきです。現在夫婦就労・高齢化など社会の構造が変わっているなかで、時間内に利用のむつかしさ・一方では時間余りの高齢者など、現在は週数回の延長時間はあるが、開場時間・閉館時間延長・休日削減などの導入を希望したい	ご指摘の通り、図書館の充実も必要なことだと思います。閉館時間・閉館時間延長・休日削減などの導入について提言シートに記載しました。
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	自分の学んだことを地域で生かすことのできる場を創出していきますとあるが、どの様にして講座内容がそのようになっているのか	市民大学には、地域でこれから必要とされる人を育てる講座がありますが、逆を考えてみました。学んできたことが地域で生かすことが出来るようにしていくということです。その架け橋のために、市民人材バンクを提言しました。講座で学んだ知識を、地域で生かすようにするためのサポートは必要だと考えます。市民人材バンク自体は、弾力的な運用を心がけ、生涯学習講座に限らない知識を、地域にいかす仕組みとしています。
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	指標の市民人材バンクからの派遣者数であるが、(この数字は)延べ人数か	分かりやすくするため、「市民人材バンク登録者数の活動人数」に名称を変更しました。
子どもたちの夢が育つまち	生涯学習	主要な取組の市民バンクについて、人材として活用する方法を教育する。自分の知識を上手に伝える方法(話し方、黒板、スライド等の使い方)、表現力、伝達力などを教育する方法を考える(具体策を作る)	主要な取組みでは、組織のあり方について大きい視点で記述させていただきました。登録された方へのサポートとして、レクチャーが受けられるのは重要なことと考えます。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	再利用、活用のコスト、エネルギーとの収支は？	コストも大切ですが、地球環境のために資源化への取り組みを重視します。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	指標「ゴミリサイクル率」の最終目標が90%になっているが、実績値との差が大きく実現可能性が低いように思う(徳島県上勝町でも34分別、リサイクル80%)	環境自治体会議にも詳しい専門家のご意見を採用しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	暮らしの姿の実現に向けての取組み方向性について 2015年までにマイナス10%の指針となる働きかけは小さな各家庭にももちろん大切だが、商業施設など排出量の多い施設、商店街、自治会単位などの大掛かりな取組みが成功への一歩だと考えます。また環境や財政への負荷の少ないコンパクトなまちづくりを明確に志向すべきです	ご意見ありがとうございます。提言シート(14)に活かしています。コンパクトなまちづくりは、ご意見のように環境(安全)、財政負担の少ないコンパクトなまちづくりが大切です。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	主要な取組みの1つ目で、列挙の事例レベルが様々なので、先ほどの3Rでまとめるか、あるいはそれに基づいて事例を列挙する方が良いと思う	訂正しました。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
地球環境さがけのまち	エコシティ	上水道の大阪府や近隣自治体との協議・連携を行いますとありますが、具体策、戦略は？	市上水の自己水比率は減少しています。今後温暖化に伴う降雨量の減少が危惧され、自己水源を確保しておくことが重要です。さらに安定供給のための提起を行い進めたいと考えます。
地球環境さがけのまち	エコシティ	山麓の大規模な墓地開発にどのような考え方で対処するのか	一般的には、自然とみどり、箕面ブランドの景観環境問題と同時に、ハザードマップの土砂災害時すべり地域のように、安心・安全の検討が必要ですが、提言シート(18)に掲載しています。
地球環境さがけのまち	公共交通	P.23暮らしの安全 P.33地球環境さがけのまち P.36人と環境にやさしい公共交通利便性を高めるまちづくり 三項につながる提案 箕面市の交通安全、地球環境さがけのまち等を実現する方向性として自動車の数を減らすTDMを実施する事が最優先課題だと考えます。学校の通学路等 当然交通規制すべき道路を増やし、平行してコミュニティバスの充実を図ること。コミュニティバスを福祉の概念だけで運営するのは財政状況に大きく左右され、拡大は望めません。マイカーに替わる市民の足としてきちんと位置づけし、福祉免除者以外の市民からは、多少の運賃を取ることで、環境、安全にも貢献できる公共バスとなりうるのではないかと考えます。	まったく同じ認識と見解で提言するものです。ご指摘の内容について、ほぼすべて記述いたしているつもりですが、「コミュニティバス」イコール「福祉バス(Mバス)」の認識も強いことから、誤解を避けるために「市内(循環)公共バス」の表現にかえることといたします。
地球環境さがけのまち	公共交通	「負荷の少ない燃料のステーション」(暮らしの姿2つ目 説明文1~2行目)とは、ガス、バイオ燃料のことか。業者は採算性を重視するので箕面市だけで解決は不可能な問題ではないか。	ご指摘どおりの課題です。民間業者・行政・公益市民団体、再生資源提供者、利用者などが同じテーブルで、今後を考え・構築しあたらしいシステムを、箕面に整備する可能性はないのでしょうか。私たちはその可能性をもとめ、難しい社会問題にもリーダーシップの取れる行政に期待しております。なお滋賀県など民間ベースでも、すでに徐々にひろがり始めております。
地球環境さがけのまち	公共交通	コミュニティバス(主要な取組1つ目)優先の公共交通体系の整備が提言されているが、そもそも自治体経営のバス事業が採算に合うのか、多くの既存都市で経営的に苦しんでいる現状をどう考えるのか	公営バスの事業採算はご指摘どおり、と認識しております。市内の循環バスは、必ずしも公営でなくてはならない、公営しかできないと決定付けないで、柔軟に検討すべきかと考えます。ご指摘いただいた疑問も含め、提言文面に柔軟性を持つ具体的提言に変更いたします。なお、「コミュニティバス交通」を「市内循環公共バス」に表現をかえ、特定イメージを避けることといたします。ご指摘ありがとうございました。
地球環境さがけのまち	公共交通	「コミュニティバスの整備により、民生費・介護保険事業費・医療費が削減でき税収が伸びる」(主要な取組1つ目 概要1行目)とあるが、定量的に把握しているのか	具体的計画段階でもなく、定量的には把握いたしかねます。ご質問いただいたように、断定的表現に疑問もありますので、他の意向もありこの文面を全面変えさせていただきます。
地球環境さがけのまち	公共交通	第2名神高速道路問題は(主要な取組2つ目)市民レベルの論議で結論は出るのだろうか。国政レベルの政策であり、専門家、利用者、(事業者)の論議が優先すべきである	広域基幹道路建設の現段階では、ご指摘の通りかと存じます。箕面市が長期的に影響を受けると危惧される内容に関して、十分な対策を採ることを提言することといたします。しかし、問題は税金を使って一体誰の為の事業なのか、地元の間が蚊帳の外で何も言えないのは、今後の課題だと思います。
地球環境さがけのまち	公共交通	「423号トンネル湧水による箕面山の水涸れ問題」(主要な取組2つ目)とあるが、長期的に考えているのか。(やがて湧水量が減少することはないのか)また、箕面トンネルは環境破壊に直結するのか	トンネル工事は事前調査や技術検討が充分に行われ、全てが自然破壊に直結することはありません。箕面トンネル事業計画の環境アセスメントに、箕面市は意見を述べていますが、その意見をもとに再調査や再検討が充分に行われ環境アセスメントに反映されていたならば今日の事態に至っていなかったかも知れません。更に専門家による技術検討会なども適時必要に応じて開催され深い検討が行われていたなら、トンネル湧水・山中の地下水位の低下も少なく、いくつかの川の水涸れや生態系など自然破壊も少なかったようです。工事後、数年で地下水位が回復されると言われていましたが、現在も続いているようです。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
地球環境さがけのまち	公共交通	第4次総合計画には北大阪急行延伸の推進が計画されていたが、厳しい財政状況下で、一部の人が受益するだけで、高額な負担をしてまで進めるべきで性格のものではない	さまざまな意見があります。事業申請者に当たる箕面市の市民、行政・議会が共有する基本的認識を「将来市民に責任を持つ大型プロジェクト」の言葉にこめ、慎重に取り組む必要性と、そのための課題や市民も参画する具体的進め方を提言することいたします。そのため主要な提言や別冊「提言シート」の記載内容を変更いたします。ご了解ください。
地球環境さがけのまち	公共交通	これから慎重に進めるべきということですが、必要性をしっかりと判断して、多大の財政負担を伴う懸念があるのならば、しっかりと財源の確保や工法の見直しによる工事費の削減など行政として真正面から検討努力し、収益がとれるよう箕面の町をさらに活性化していくように、これからのまちの持続的な発展と整合性をもたせればよいのではないのでしょうか。 最初から行政が逃げ腰で努力しているように見えません。もっと実現の可能性を高める努力を計画に盛り込むべきです。 つい先日、京都から豊中に引っ越しをしましたが、私は箕面で働いており、旦那は江坂で働いています。お互いの職場のちょうど中間に住むということで、服部付近になりましたが、北大阪急行を延伸していただければ、箕面に住むことも可能でした。 箕面は大阪市内や豊中市よりも安全な地域なので、延伸することで箕面に住もうと思う人が増えるのではないかと思います。都心に近く、自然がたくさんあり、安心して暮らせる地域というのは大阪では非常に少なく、元々住んでいる方以外にも市民を増やすこともまた視野に入れていただければと思います。そして、より交通の便が良くなることで観光客の増加につながるのではないかと思います。	
「箕面らしさ」を活かすまち	全般	提言シートで扱われている、(22)自然環境の保全、(23)歴史・文化・伝統行事、(25)観光ビジネスについて、市の方針の骨格となる観光基本計画を策定し、事業ごとの個別対応ではなく包括的な取り組みが必要であると考えます。 明治の森公園は、紅葉以外のシーズンでも観光客を呼ぶことができる魅力溢れる場所です。公園内には、箕面山と縁の深い瀧安寺もあり、歴史・文化面でも魅力的な環境が整っています。さらに最近では、古い建物をリノベーションした橋本亭、音羽山荘、梅屋敷、一汁二菜うえのなど、新しいスポットも増えました。 このように瀧道・明治の森は多くの観光資源をかかえています。市役所各部局、関係団体がそれぞれに行事を企画し、PR活動をおこなっているため、残念ながら市外への宣伝力は弱く最大限に活かしきっていないと考えます。 従来のような癒し、健康、スポーツという枠を超えて、「おしゃれ」「買い物」「遊び」「教養」などアミューズメント性が高く、人々の感性に訴える楽しい企画と、新しさを取り入れた広報宣伝活動に変えていく必要があるのではないのでしょうか。そのためには、観光事業に関する年次行事、推進体制、予算などを見直し、長期的な戦略と時代のニーズにあったイベントの開催を期待します。	「箕面らしさ」として「自然環境」「歴史文化」「住環境」「観光・農業」と4つの政策を取り上げ、提言書としては4つとしましたが、私達市民会議の思いはこれら4つの政策を個々に実行する(いわゆる縦割り行政)を指示しているものではありません。実行段階ではご指摘どおり包括的、総合的な組織体制で実行される事が望ましいものと考えております。「箕面らしさの」魅力をより一層高め明日の箕面に繋げて行く事を、大きく目標4としてとらえ「次期総合計画に織り込むべき」との提言です。この問題に限らずいまでも縦割り行政が色々と言われてきています。これから地方分権の時代、自治体間競争の時代です。民間経営の発想で言えば、観光産業は市長自らアピールが必要です。大阪府、や宮崎県知事に見るようなトップセールスやPRの時代です。箕面もこれからは検討しなければならないでしょう。その意味でご意見に同感です。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	「手入れもできていない市内の公園の状況から市民の「箕面の緑」の満足度は4割程度」とあるが、実態を把握しているのか	公園管理費が減らされぎみのなか夏にいくつかの公園を見たとき現場はたくさん確認しております。市民会議メンバーの意見の一致するところです。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	「アドプト活動」は 花作りだけでいいですか？	川、公園、道路の清掃、植樹などがあります。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	主要な取組2つ目 概要2つ目の項目「親水河川(水辺の学校)事業の推進」とあるが、急増水の安全避難対策は？	先月の神戸市・都賀川の鉄砲水による死者災害は大きな教訓となりました。水辺環境の整備として「浸水河川事業」を推進していく中で、安全避難対策は欠かせることが出来ない課題です。親水河川の急な増水事故の教訓を生かし、親水河川に増水時の警報設備、監視カメラ、放送設備や、水防団や市の巡回体制を拡充するなど、親水公園の安全対策の整備を提言しています。集中豪雨による鉄砲水から市民を守るために、河川や水路・小川の総点検も大切です。豪雨による鉄砲水を未然に抑制する対策として、雨水貯留・浸透、校庭貯留などにも、提言シート(6)に詳しく明記しています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	「箕面ダム湖のヘドロを解消」とあるが、具体策は？	解消は困難と考えていますが、豪雨時には枯れはや小枝・枯れ木も混ざった濁流がダム湖に流れ込み数十年間でそれは腐り湖底に沈殿し、そこに大きく強い雨によって洪水がダムに流入すると、沈殿していたヘドロの流出が起こるようです。ダム上流の堰堤の土砂溜ポケットがいっぱいでは堆積土砂によるダム機能低下は促進されますが、治山対策や適切な堰堤の土砂溜ポケット管理はその要因を抑制し、よほどのことがなければ大量のヘドロ流出のない適切な河川ダム管理が大切と考えています。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	「都市公園の管理と整備」とは、都市公園をもっと「配置」して、「人にやさしいまち」を作ろうという意味ですか？ 都市公園の市民による管理の充実と整備が、現状の市民のコミュニティでできるのか。(コミュニティの育成が先決)	・都市公園計画は、法令で市民一人当たり6平方メートルが求められているのに対して、公園の開設済みの公園面積が2.7平方メートルしかありません。平等な行政運営のためにも開設公園格差の解消が大切です。震災時の緊急避難地にも役立ち、人にやさしい都市計画公園の開設を目指します。 ・将来都市像に自助、共助とうたっているとおり、地域コミュニティづくりはもっとも重要な政策と考えています。そんな考えのもと都市公園も地域の住民が主体的に管理していくことが望ましく、コミュニティ作りと同時進行させていくべきと考えます。
「箕面らしさ」を活かすまち	歴史・伝統文化	神社は歴史文化にはならないのですか？	仏教文化に特定したわけではありませんので、「神道文化」も追記しました
「箕面らしさ」を活かすまち	歴史・伝統文化	歴史的建造物については？	市指定文化財の中に、歴史的建造物も含まれています。
「箕面らしさ」を活かすまち	歴史・伝統文化	・育成支援制度について 「新しい箕面文化」創造活動にたいする行政の育成支援制度について 単に優秀だからそのグループを支援していくというのではなく、芸術振興をするのであれば、もっと大きな視点で全体を捉え、優秀なグループだけではなく、芸術活動をする全ての人が箕面で可能性を見出せるような、すその拡大を目指す支援制度にしていきたいです。 ・若手アーティストや文化の担い手が育ち集まる仕掛けについて 新しい文化(芸術)が活動するフィールドは広いです。実質、現状は様々なコンテンツに関わる優秀な人材が関東に流れていく傾向にあります。関西では、昨年からそういった優秀な人材を関西に留める活動を始めているところもあります。 ただ単に金銭的な支援だけではなく、『箕面を拠点にして活動ができる環境作り』という考え方が重要になってくるのではないのでしょうか？優秀だから支援するのではなく、支援すべき人材を街が育ててくらの勢いが必要だと思います	育成支援制度はある程度枠を設けることが必要かと考えます。しかし今後実際の具体的な局面では市民の「文化・芸術活動」に対して行政から最大限の理解と支援を求めることができます。それは「箕面市まちづくり理念条例」にすでに謳われていることであり、それ以上の具体的な内容はここでは提言していません。
「箕面らしさ」を活かすまち	歴史・伝統文化	暮らしの姿 指標4つ目の指定文化財の単位「点」というのは、どう数えるのでしょうか？	正直表現に困りました。芸術・文化は内容も異なりますので、どう表現すべきでしょうか？
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	提案書を読ましてもらい、表面上の改善策の上書きのみで、なぜに活性化しないかという掘り下げた内面についての検討が欠落していると感じました。 年中集客をとるためにコンテンツの掘り下げや特産品の開発を必要としているが、それだけでは集客や売上増加に繋がりません。現在もTMO中心に行っていることだと思います。 今後、観光・商業の活性化を定着させるには担い手となる商店街、観光協会、箕面市、商工会議所、まちづくり会社が各々の使命や役割分担の見直しによる構造改革(土台)が必要です。提案書に書かれているコンテンツの掘り下げや特産品の開発は表面的で単発的なものになり、一過性の活性化にすぎません。 行政による新しい観光と産業でまちを活性化する構造を変革するという位置づけがあつての活性化策の策定が今後、具体化することで可能となると思います。表面上の活性化策ではなしに実際、活性化策に必要な土台を拡大し強化させる事を重点課題とすべきだと思います	ご指摘のような構造改革が必要なのかもしれませんが、2004年「箕面市中心市街地活性化基本計画」が作成され、その後TMO構想が市から認定され「箕面わいわい(株)」が設立されハード事業、ソフト事業が進められてきており今日にいたっていると認識しています。そして今年度より箕面駅前活性化計画も着手されるやに伺い、市民会議の私達としては暫くは観察するタイミングとしてそれ以上に踏み込む事をおこないませんでした。よってこの提言書が表面上の改善策で終わっていると受け取られてしまったのだと思います。それに「観光・産業・市街地活性化推進・商業振興」は「都市計画マスタープラン」の「まちの活性化」に直結する大きな検討課題でもあり、今回の市民会議の検討メンバーだけでは荷が重く検討時間が不足してしまいました。よって今後の総合計画検討の策定委員会や審議会へ検討を委ねたいと思います
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	暮らしの姿 提言の具体策が乏しく、新たな取り組みが少ないがこのような指標になるのか？	観光客数は景気動向や人々の求める価値観で大きく変化するもので予測しがたい部分がありますが、方向性としては健康志向、癒しなど自然を求める時代へ移っていくものとしての期待値です。基本構想として方向性を示しましたが、あまり具体策にはふみこめてはいません。
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	農業の主要な取り組み・地産地消の項目「朝市の市域の展開拡大」で既存営業者との折り合いはつのか。(1つのパイを食い合うだけではないか)	地産地消の一つの政策として朝市を進めていきますが、消費者行動を規制するものではありません。既存営業者とは品数、量がまったく違い、競合はあまり少ないと思います。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	NPOなど市民の自発的な活動で地域が活性化するには、NPOがその特徴を活かしながら社会貢献できる仕組みが必要です。提言シート集60ページには、NPOの発展性や専門性・組織力について課題が書いてありますが、この課題を解決するためには、個々のNPOのマネジメントを強化する方向ではなく、ネットワークやコーディネーター役を果たす中間支援組織のあり方を再度検討する必要があるのではないかと考えます 一昔前のようにNPO＝ボランティア活動ではなく、最近では企業の社会的貢献やコミュニティビジネスが盛んになってきました。また、地域を活性化するには、NPOの他にも地元の企業や商店街、自治会などの協力も必要で、それぞれが多層的につながることで箕面が個性的なまちになると考えます。そのためには、NPOの中間支援機能を担うのは市民活動センターだけではなく、外郭団体や商工会議所との連携も検討する必要があります。「みのお市民社会ビジョン2020」策定の時には、62ページに記載してある代替案：公益市民活動団体協会以外に、もっと視野を広げた議論をしてほしいです	まったく同感の認識と見解で提言するものです。箕面の公益市民団体(市民セクター)に今後必要なのは「総合力を高め、活動能力を高めること」と提起し、ご指摘内容などを、市民、行政など協働により「みのお市民社会ビジョン2020」の形にまとめ、推進して意向と提言するものです。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	公益市民団体の自立化とは、補助金を受けないとの意味ですか。	「補助金」の有無だけの意味ではなく、ここでは組織のもつ能力全体を指す、広い意味での「自立」として捉えています。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	「みのお市民社会ビジョン2020」策定に当たり、市民、公益市民活動団体などと行政との協働機関を設けるとあるが、(主要な取組1つ目 概要4行目)「行政」の抱える「縦割り行政体質」をどう解消するのか	地域への縦割り行政の弊害に比べ、公益市民活動への弊害は、少ないものと認識しておりますが、ビジョンづくりの中で、検証し論議を深める課題と認識しております。また策定に当たって、縦割り行政の現システムが必ずしも支障になるとは考えておりません。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	「市民資金ファンド」の創設とあるが、その資金は？	いろいろなスタイル、方法があり、それゆえ今後の検討課題であると考えております。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	・透明性の高い行政運営には積極的な情報公開は不可欠である。 ・行政内部のみによる評価では不十分であり、市民を含む第三者に評価が不可欠である。 ・自治基本条例の制定、経営改革推進本部並びにまちづくり市民会議(仮称)の設置は大変有意義である。	ご意見にある通り認識しており、提言書にも織り込みました。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	「市民のニーズに沿った地域社会にすることが行政の役割」とあるが、市民のニーズは、とかく近視的になる。長期的、本来的視点は行政専門家の努力と資質とする。	行政の役割はおっしゃるように長期的視点で見た市民のニーズに沿ったまちづくりが実現することです。そのような市民ニーズを掌握する上で行政の専門家の努力や資質も問われるでしょう。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	財政の改善策に見るべきものがない。	大型開発投資をしないか、細かな改善策を積み上げるしかありません。行政職員のスリム化などは財政改善に効果があると思いますが、起死回生策があれば教えてください。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	「審議会」はその位置付け、役割を変えねばダメ。	おっしゃる通り「審議会」の位置づけや役割変えることも必要かもしれませんが、その前に多くの審議会が形骸化している現状に鑑み、実質的な議論を重ねるなど本来の役割を果たせるよう運営を改める必要があるのではないのでしょうか。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	行政経営	財政の健全化に関する指標にある財政用語の説明があるのでは？	市民向けの資料の場合は必要ですが、市長への提言書ですので、行政で通常使用されている専門用語は説明していません。
地域経営改革の視点		行政が無駄のない効率的な経営をするには、縦割りでない分野横断的な取組みが必要。	おっしゃる通りですので縦割りの弊害を極力排除することを付け加えました。
地域経営改革の視点		個別提言に関しては、よく練られていると思うが、条例として実施する時の現場の仕掛けが描かれていない。いいことを並べているので総論賛成だが、実施する時の各論反対になりかねない。個別提言の予算及び費用対効果の検討が抜けているために、内容的によい事を言っている範囲に止まっている。また、ここで言う「市民の役割」とはなにか?「自助」と合わせて議論を要するところだと思う	ご指摘の通り具体的な実施要領にまでは踏み込んでいません。本件は総合計画の基本構想に関する提言ですので、基本的な方向を提言するに留まっていますが、基本方向が決まれば、それに沿った実施計画や具体的な実施方法が検討されるはずですが、また、ご指摘の通り個別施策の費用対効果を検討すべきですが、財政負担額までは検討できませんでした。
地域経営改革の推進のための取り組み		提言を実行していく仕組みが大切。PDCAを誰が行うのかをきちんと定め、行政を動かしていくという箕面の自治度のレベルアップが求められる。	提言にある「まちづくり市民会議」が設置され、その活動が成果を上げることを期待しています。
地域経営改革の推進のための取り組み		自治基本条例により弊害がでている自治体もある。良い形で自治基本条例が運用されることが重要。	おっしゃるとおりです。「自治基本条例」については提言シート32に詳しく提言しています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
市議会に関する提言		議会についても積極的に踏み込んで提言してよい。	地域経営のあり方を検討する中で、市議会に期待したいことはたくさん出てきましたが、総合計画のなかで議会の方向性についてどこまで触れることが許されるのかわかりませんでしたので(これまでの総合計画では全く触れていません)、提言書に付記した程度にとどめました。
市議会に関する提言		議員のレベルアップが求められる。どうレクチャーし、どう理解を深めてもらうか。	議員のレベルアップが必要とすれば、それは議員自身に努力していただく問題だと思いますが、提言にあるようにもっと市民に開かれた議会になれば、議員の皆様にも大きな刺激にはなると思います。
市議会に関する提言		市議会に関する提言は大変有意義である。議会運営ならびに議員活動の透明化は市民全体のことに無関心で、一部の地域や市民の利益代表の意識しか持たない議員と多くの市民に影響する問題に意欲的に取り組む議員とを市民が判別する一助になる。	もっと市民に開かれた議会になることを期待しています。
市議会に関する提言		この提言は、いかにも提言として偏向していると感じます。市長は、出前座談会をやっているから民意を反映し、その市長と対立しているから議会は民意を反映していないという短絡的な論理が透けて見えます。もしこの問題を語るならば、あれほど前市長が出前座談会をやっているながら民意で交代することにはならないはず。むしろ、問題は、市長が参謀や調整役としての副市長を置かず安易に人件費の抑制として庁内の調整機能や政策実現力を著しく低下させたまま走ったことにあると思います。市議会が民意を反映していないから市長と市議会との対立が続いたのではなく、市長が調整機能や政策実現力を著しく低下させたことに真の原因があったと思います。 しかし、一方で市議会は、市民にもっと開かれた運営をすべきですし、議員はもっと自らの活動を市民や地域に広報すべき責務があると思います。これらは、本来、地方自治の本旨にも関ることですし、議会制民主主義の根幹に関することです。制度については、総合計画で論じるべきものではなく、議会内部の主体的な取組みが求められるものだと思います。本会議や委員会をより身近にわかりやすいものとするために、論点を整理するとか、解説をすとかさまざまな広報手段があると思いますが、この提言は、いささか具体的に踏み込んでいる割には研究不足かと思えます。本筋としてこの問題を指摘し、市議会の主動的で具体的な検討を促すにとどめるべきかと思えます。	市民会議には総合計画に関する提言をまとめるために多くの市民が参加していますが、特定の市長や市議員に対する評価や議論は全くしておりません。従って、ご意見の前半部分についてはコメントできません。 市議会に関しても、何かを提言しようとして検討したわけではありませんが、地域経営のあり方を検討する中で、おっしゃるような課題に気づき、敢えて提言書に付記したまでです。市議会の方向性について、総合計画で触れるべきではないとは思っていませんが、ご意見にあるように議会自らがもっと市民に開かれた議会になるよう変革することにこそありません。
市議会に関する提言		市民が議会への出席をうながす施策は、働きかけは？	市民が議会への出席とは傍聴のことでしょうか？提言書にある通り全会派の議員と市民との直接交流の機会があれば、市民の議会への関心が高まると思います。
市議会に関する提言		議員と市民の交流会は、一部趣旨は異なるが実施されている。	一部の議員が市民に報告をしておられますが、全会派の議員が集まって市民に説明する交流会はないと思います。
全般的なご意見		財源的裏付けが感じられない 市民の提言の弱点に、身近な問題に関心が高まる傾向がある。つまりどちらかと云うと、近視眼的な要求が多い。その実行に多額の費用を要する点には、行政が何とかする、乃至は行政の無駄を排除せよの声で片付ける傾向がある。しかし、それで費用が賄えるのか、検証が殆ど見られない。費用対効果の視点も、突っ込み不足を感じる。 また、自助、共助、公助と唱えながら、市民自身が自ら負担する(例えば税金、経費)覚悟があるかが問題で、国政レベルの消費税論議にみられる如く、市民が本当に負担乃至我慢が出来るのが疑問、特に弱者救済と称し、低所得者、高齢者、要介護者、障害者の負担をどう考えるか、税や費用負担が叶わないなら、せめて我慢の範囲をどうするか、論議すべきでないか	市民の提言は身近な問題というよりは、特定の問題に思い入れの強い人の意見に引っ張られやすい傾向はありますが、市民会議に参加している市民の多くは、多くの普通の市民の視点と長期的な視点を持ち合わせていますので、決して近視眼的な見方はしていないと思いますし、意見交流会やパブリックコメントで出された多くの市民の皆様のご意見も充分反映させていただいています。 ただ、ご指摘の通り提言したいいくつかの政策実行には財政負担が伴いますが、投資金額を算定して財政との整合性を検証するところまでは詰めておりません。短期間にそこまで詰めることは市民には難しいので、次のステップで検討されることになるでしょう。 また、この提言では地方分権の時代に入って市民の役割が大きく市民協働の推進如何がこのまちの将来を決定づけるとしていますが、おっしゃる通り市民にどの程度の覚悟があるのかがポイントとなります。自助・共助については、財源的裏づけがなくても市民は活動します。お金は出せなくても労力や知恵を出せる市民がたくさんいます。お金が介在しないと市民は動かない、助けあわないという時代ではありません。今までは行政がやっていたことも、財政負担に限界があって行政ができなかったことも、自ら、あるいは行政と協働でやろうというのが市民参加です。また、やられるのではなく、自分ができる範囲のことに積極的に行動すれば、市民にたとえ費用負担が掛かっても、大きな負担感はありません。 何でも行政に依存しようとする市民や、評論家や傍観者としての市民ではなく、「箕面のあした」のために知恵を出し汗を流す市民が求められています。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
全般的なご意見		市長権限の及ばない問題と、及ぶ問題とを同じ視点で論じている この提言を市長に提出し、次のステップに移ると記されているが、市長権限(身分与奪の権限)の及ばぬ、市議会の問題、教育委員会に係わる問題、教職員の問題、水道事業の問題、国、府の権限の問題を、市長権限のある問題と同じ視点で論じているが、権限の及ばない問題を、どの様な方法で実現させるのか、具体的方策を示すべきと思う。(単に協議するの記述では、殆ど実現しない)	提言書は市長に提出しますが、本件は市長権限云々に関係なく、箕面市の将来像がどうあるべきなのか、それを実現するためにどんな政策が求められるのか、その方向と目標を提言していますので、箕面市だけではどうにもならない国家レベルの問題は別としても、議会のあり方、教育のあり方なども総合計画に示されることは何ら問題ないと思っています。市民は勿論のこと、行政も市議会も教育委員会もすべての主体が一体となって「箕面のあした」をつくらねばなりません。 なお、この提言書は市議会へも提出します。
全般的なご意見		市民とは とかく、この種会議に出席し意見を述べるのは、市政の改革に意欲のある方々と敬意を表しますが、公募の性格上、特定の市民(年齢、性別、住所、職業など)が参加する事が多い。その為、市民各層の平均的意見とは異なるケースがみられる。 この提言でも熱心さのあまり、市民各層の平均的意見か?との振り返りが忘れ勝ちで、市政に意欲的に取り組んでいるとの自負から、錯覚を起こしていると感じられる。 また、市民は誰も馬鹿でないと思っている。しかし、迎合政治や地元利益誘導、単に知っている(知名度、人気)で判断し、苦い経験を持っている、しかし其の反省はあまり見られない。このことをどの程度斟酌しているのか判らない。	ご指摘の通り、市民会議に参加している市民全員が市民の平均的な意見を持っているとは限りません。しかし、個人的な意見はともかく、全員が平均的な市民の目線に立って議論しており、また多くの市民団体との意見交流、一般市民との意見交流、パブリックコメントなどを通じて、できる限り市民の総意に近づけるよう努力しています。そういうことが、却って個性の少ない常識的な提言になりすぎているのではないかと危惧しているほどです。市民の平均的な意見と異なるとおっしゃる部分について、平均的な意見を示していただけませんか。 また、この市民会議が迎合政治や地元利益誘導でないことは、内容を見ていただければ容易に判断していただけると思いますが、
全般的なご意見		住民投票と議会制度の関係 この提言に、幾つか「住民投票」の必要性ないしは住民の意思確認の手段として記述されているが、市民の投票によって選ばれた議会との関係を、どの様に考えているのか明確でない。仮に議員の資質に問題ありと云うならば、選挙民の資質、つまり自分たち市民の資質の問題である、前項にも記したように、市民の資質向上に努める市民活動こそ有効な手段でないかと思う。	ご指摘の通り市民の自助、共助が叫ばれまちづくり多くの市民が参加する時代になって、市民の意識や資質の向上は大きな課題です。 しかし、議員の資質が問題だから「住民投票制度」を提言しているのではなく、たとえば市の合併など大きなプロジェクトで民意が二分される場合や、選挙の時に争点にならなかった大きな問題が生じた場合などには「住民投票」で決するのが最適の場合もありうと思っています。市長や市会議員は個別の政策ではなく、それぞれの総合的な政策や人格で選ばれており、個別の政策となると必ずしも民意を代表しているとは言いきれないケースも考えられます。 なお、ご承知の通り住民投票については、既に「市民参加条例」で認められています。
全般的なご意見		生涯学習について、高齢者の学習にイメージが偏っているように感じられます。本来、生涯学習は、市民が主体的に課題を感じ、学び、その解決に向けて自らをエンパワメントしていくものであり、その意味で市民社会の基盤であり、民主社会の基盤を提供するものです。主に時間に余裕のある方を対象とした余暇的な活動というイメージから脱することが必要と感じます。	生涯学習については、行政から与えられるものではなく、おっしゃる通り市民が主体的に企画し学ぶのが基本だと思います。また、民間のカルチャー教室に代わるものではなく、市民活動の基盤となる学習も大切です。
全般的なご意見		専門的に市政に携ってきており、その意味で専門家として育成されてきたはずの行政職員のかかわりが薄く感じられます。市民との協働は、後ろにさがることなく、対等な立場でホンネで話すことから始まると考えます。専門家としての視点からよりブラッシュアップしていくことが必要なのではないでしょうか。 基本的な方針として、箕面市(行政)のしなくてはいけないことは何か、をまずはっきりと認識することから始めるべきものと考えます。しなくてはいけないことは何か、から始まり、そこから必要な負担を逆算していくことが本来であると思います。	次期総合計画も、今後多くの行政職員がかかわって市民会議の提言をベースに原案が起案され、策定委員会や審議会等で検討されますので、個々の政策や施策についてはブラッシュアップされると思いますが、この提言書の骨子はすべて活かされることを期待しています。
市民会議全般について		サポートスタッフの役割と機能について スタッフに延べ人数とは思いますが、多数の市職員が参加している。この職員は総合計画を立案するためのスタッフなのか、この会議の円滑な進行をサポートする為のものか、立場が判らない。 前者であれば、市職員の資質に重大な疑問を感ずる。つまり、自分たちも参加して纏めたものは、少なくとも自部署で、提言が実現可能と考えられるものか、もしくは実現に向けて、他の職員をも巻き込む気概がもてるものに出来たのか問われる。 後者の場合なら、主管部署が年度予算で「市民を巻き込んで、提言を纏める活動を進める」行事の一貫として実施した場合で、この場合は、主催部署が予算消化の為にに行ったに過ぎず、提言内容が参加した市民の期待に沿うことは無い。(昨年、一昨年開催の「まちづくり塾」などの例)	サポートスタッフの皆さんは、行政に関する知識に乏しい市民委員に対して資料や知識を提供していただくだけでなく、市民と一緒に考え、一緒に議論し、一緒に提言シートを作成していただきました。市民会議の進行のサポートは事務局の職員が精力的にやってくれましたので、サポートスタッフや事務局のスタッフの皆さんはこの提言書を作成するために重要な役割を果たしていただいたと思います。 提言内容は必ずしもサポートスタッフの皆さんの意に沿う内容ばかりではありませんが、この提言が総合計画に反映されるよう次のステップでもバックアップしていただけるばかりではなく、議論を通して出された市民の意見を実務にも生かしていただけるものと期待しています。 おっしゃる通り「まちづくり塾」での市民の提言は行政で充分活かされたとは思えませんが、市民会議の提言はそのまま「総合計画策定委員会」で検討されますので、若干の修正はあるとしても、その骨子は次期総合計画に織り込まれるはずですよ。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
<p>仮名遣いや表現に関するご意見、用語の説明に関するご意見等は以下にまとめました。</p>			
メッセージ		3行目 「私たち」と「わたしたち」が混在しています	このページでは「わたしたち」に統一しました。また、ややその言葉の使用が多いので、全体的に使用を減らしました。
メッセージ		4つ目 「市民がさまざまな領域で…考えます。」 文のつながりが少し変に感じます	確かにつながりが悪い文章でしたので、修正しました。
メッセージ		下から2行目 「コンサルティングいただいた」 日本語として通用するのでしょうか。「支援していただいた」くらいでどうでしょう？	「支援していただいた」に修正しました。
総合計画策定の5つの視点		5つの視点 に「市民と行政とが協働で政策を形成し、その実施プロセスも明確にします。」とあるが 「市民と行政とが協働で政策を実施するためのプロセスも明確に示された総合計画を旨とします。」に変更。	ご指摘の通り表現が分かりにくいので修正しました。
総合計画の構成		「フレキシブルな対応ができる計画」とありますが、カタカナは減らしませんか。「柔軟な」で十分だと思います。	敢えてカタカナを減らすことにはこだわりませんでした。一般的によく使われているか否かなど、読まれるかたが理解しやすい表現になっているかどうかを心がけました。ここは「柔軟な」に変更します。
総合計画の構成		実施計画を「ローリング方式」とするありますが、説明が必要ではないでしょうか。	本文中にも若干説明がありますが、毎年度修正や補完などを行いながら、常に一定期間の先まで計画し、変化する経済・社会情勢に弾力的に対応し、計画と現実が大きくずれることを防ぐ方式です。 この提言書は市民向けではありませんので、専門用語の説明を付けていませんが、市民と共有する「総合計画」では用語集を付ける必要があると思っています。
まちづくりの基本となる考え方		8行目 「バックボーン」 カタカナをやめるとすると、「柱」でしょうか	「柱」「背景」「基盤」「信条」…検討いたしましたが、現行通り「バックボーン」を使用いたします。
まちづくりの基本となる考え方		枠内 この欄の各段落は、字下げしなくていいですか	字下げしました。
まちづくりの基本となる考え方		枠内3行目 「ポジショニング」 「位置づけ」？ 「都市のポジショニングの向上」とは、都市ランキングの上位にあがるようなイメージでしょうか	「位置づけ」より「ポジショニング」がびったりな表現かと思っています。都市ランキングもありますが、厳格な指標だけではなく、ひとそれぞれの都市評価や、イメージと考えていただけたらどうでしょう。
まちづくりの基本となる考え方		「スパイラルアップ」 この言葉は一般的ですか？	「スパイラル」は一般的であり「スパイラルアップ」は、必ずしもそうではありません。上昇イメージがほしいところですので「らせんの上昇」の言葉を添えます。
安全・安心でみんながいいき暮らしをさせるまち	高齢者・障害者・外国人	外国人支援に関わる 「内外人平等の原則」は一般的な言葉ですか？	国内では日弁連「人権擁護大会宣言・決議集」（人権神戸宣言）や「三田市在住外国人教育基本方針」などでも使われています。 この原則は「国際人権B規約」に準拠する概念です。
子どもたちの夢が育つまち	子育て支援	子育てに関する情報が、パソコンやモバイルなどで、簡単に手に入れることができるようになっていきますとありますが、「モバイル」を「携帯電話」に変えては	変更しました。
地球環境さがけのまち	公共交通	4～5行目 「カーシェアリング」 説明はいりませんか？	説明があったほうが丁寧ですが、提言書利用者が当面行政など説明可能範囲でもありますので、説明を添えないことといたします。
誰もが公共を担い、みんなで作るまち		この「自律」は意図的ですか？	「自立」ではなく「自律」です。
誰もが公共を担い、みんなで作るまち	公益市民活動	(2)タイトル 公益活動「ネット」(P.47にもあり) 「ネットワーク」のほうがいいのでは？	ご指摘どおり修正しました。
安全・安心でみんながいいき暮らしをさせるまち	高齢者・障害者・外国人	(障害者)「当たり前」と「あたりまえ」は意図して変えて、ひらがなにしているのでしょうか	ひらがな表記に統一します。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
安全・安心でみんながいきいき暮らせるまち	高齢者・障害者・外国人	「暮らしの姿」の指標「法内施設」説明があるのでは？	必要な説明を加えます。
子どもたちの夢が育つまち	人権	男女協同参画の「協同」の漢字でいいのでしょうか？ 次ページにもあります	変更させていただきました。また、一般的には「共同」、箕面市は「協働」という単語を用いていますので、そのように対応いたしました。
子どもたちの夢が育	生涯学習	生涯学習で使われている「人材」を「人材」に直したほうがいいのでは。	変更しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	(エネルギー)本文4行目「先駆け都市」「環境」を入れないと通じません。「さきがけ」でなくていいですか？	加えました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	(ごみ)本文1行目「資源の有効活用を進めるなど」人がごみと認めていても、占有者がごみと認識していなければそれはごみではありません。従って、ごみを資源と定義づけるよりも「再資源化を進めるなど」に変更した方が適切である	変更しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	(ごみ)本文1行目「真剣に」この表現は主観的な言葉で、その根拠も曖昧であり多くの人に共有認識いただけるか疑問である	削除しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	(ごみ)本文2～3行目「分別収集、マイバック持参運動…減量を推進します」列挙している事例のレベルがさまざまで、優先順位も明確でない。改善例としては「リデュース、リユース、リサイクル」でまとめるか、あるいはそれに基づいて事例を列挙する方が良いと思う	変更しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	(ごみ)本文3行目「事業所系のごみ減量も進めます」それまでの取り組みは「家庭ごみ」であることを表記するとともに、「事業所系」ではなく「事業系ごみ」に変更すべきである	訂正しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	暮らしの姿 説明文1行目「エコ車」「エコ車」で通じるのでしょうか？	最近、会社も「エコ車」で売り出しています。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	暮らしの姿 説明文「ゴミ」提言シート14「ごみ」に統一してはどうか	訂正しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	暮らしの姿 説明文3行目「ゴミ分別意識の高揚…リサイクルも進み」リサイクルの結果として減量化なので、順番を入れ替えてはどうか	訂正しました。
地球環境さきがけのまち	エコライフ	暮らしの姿 指標「ゴミリサイクル率」提言シート14 平成19年度実績 17.58%	訂正しました。
地球環境さきがけのまち	エコシティ	暮らしの姿 指標「緑被率」「自己水量(比率)」「雨水浸透率」説明があるのでは？	市民向けの資料の場合は必要ですが、市長への提言書ですので、行政で通常使用されている専門用語は説明していません。
地球環境さきがけのまち	公共交通	主要な取組2つ目 概要下から2行目「環境アセスメント」説明があるのでは	市民向けの資料の場合は必要ですが、市長への提言書ですので、行政で通常使用されている専門用語は説明していません。
地球環境さきがけのまち	公共交通	主要な取組2つ目 概要2段落目 この段落は、必要ですか？	文章を全面変更します。
地球環境さきがけのまち	公共交通	主要な取組2つ目 概要2段落目2行目「モーダルシフト政策」説明があるのでは	「ボーダルシフト政策」は直接触れない文章に、全面変更します。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	(自然)3. 下から1～2行目「アドプト活動」説明があるのでは	ご指摘の通りだと思い提言書に説明させていただきました。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	暮らしの姿 野生生物の数「適当」と「適正」がありますが、どちらかに合わせた方がいいのでは	「適正数」と修正しました。
「箕面らしさ」を活かすまち	自然	主要な取組1つ目 自然環境の保全の取り組みでこの項目間のつながりがわかりにくい。1行目と2行目の間は「、」でいいのでしょうか。ニホンザル、イノシシ、シカの個体数管理と、ホテル、チョウの保全再生プラン実行を1行で記述している。別に分けたら	2つの表現に分けました。

市民の皆さんから頂いたご意見と提言書への反映について

内容	項目	ご意見	ご意見に対する市民会議の考え方・対応
「箕面らしさ」を活かすまち	観光・産業	(観光)一年を通じてコンスタントな観光客 「コンスタントに」を「常に」くらいでどうでしょうか	コンスタントは一般用語として使用していませんか？でもご指摘に従い訂正しました。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	地域コミュニティ	暮らしの姿 指標2つ目 「地域予算制度適応率」 説明があるのでは？	説明があったほうが丁寧ですが、提言書利用者が当面行政など説明可能範囲でもありますので、説明を添えないことといたします。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	地域コミュニティ	主要な取組1つ目 概要下から2行目 「地域別ロードマップ」 説明があるのでは？	説明があったほうが丁寧ですが、提言書利用者が当面行政など説明可能範囲でもありますので、説明を添えないことといたします。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	(公益市民活動)本文下から3行目 「シカケ」 カタカナにする必要はありますか？	ご指摘どおり不適切ですので、「仕組み」に修正します。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	暮らしの姿2つ目 説明文1行目 「自立化」の「化」は不要では？	不要かもしれませんが、ここではより進めることを意図して「化」を残します。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	主要な取組1つ目 概要下から1行目 「明確化します」 「明確にします」 「(代替案公益市民活動団体協会)」 「代替案として～協会を作る」でしょうか	修正いたします。
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	公益市民活動	主要な取組6つ目 概要下から2行目 「プラットフォーム」 説明があるのでは？	説明があったほうが丁寧ですが、全般的に他にも多々ることや、提言書利用者が当面行政など説明可能範囲でもありますので、説明を添えないことといたします。
市議会に関する提言	市議会に対する提言	「議員は多くの市民の声を政策形成に反映させていただきべきなのです」とあるが違和感のある表現です。断言しにくいなら、「反映すべきではないでしょうか」といった表現ではどうでしょうか。	ご指摘の通り違和感のないような表現にしました。
市議会に関する提言	市議会に対する提言	「議員と市民が情報を共有します」とか「議会の透明性を向上させます」という表現は「共有してほしい」、「向上してほしい」とする。	提言書であって要望書ではないのですが表現を検討します。